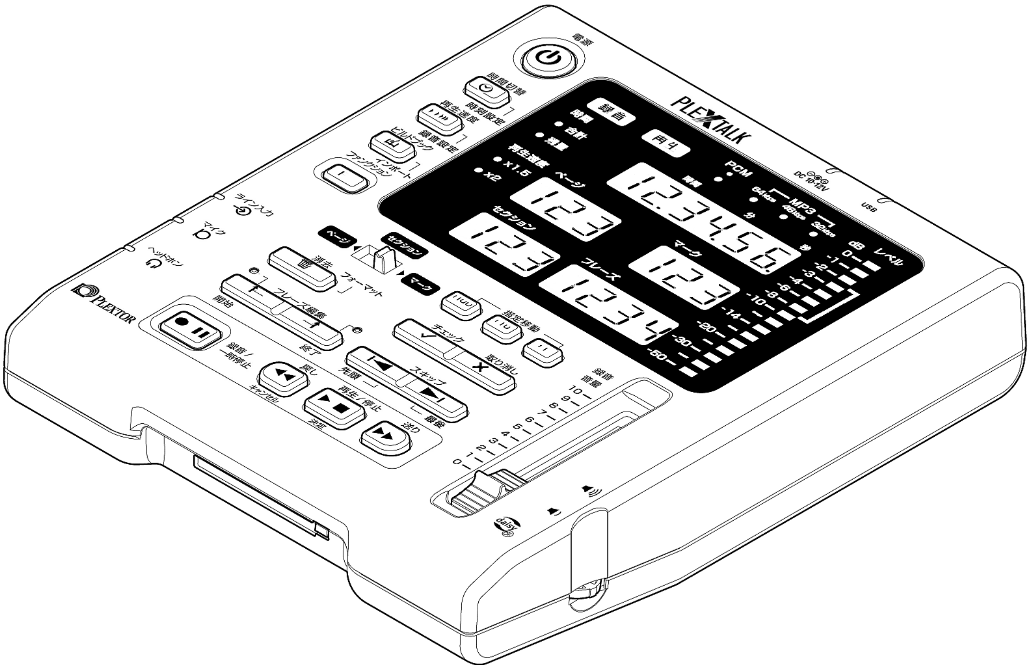
PLEXTALK®

# デジタル録音機
# DR-1



# 取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DAISY2.0
compatible

# 目次


## 安全上のご注意……4
本文中の絵表示について……4
使用許諾……6

## 1 章　はじめに……7
パッケージに含まれるもの……8
デジタル録音機 DR-1 とは……9
DAISY（デイジー）とは……10
　DAISY 図書とは……10
　DAISY 図書制作の流れ……10
　DAISY の用語……11
各部の名称と働き……12
　ボタン、つまみ……12
　入出力、コネクタ等……13
　画面表示……14

## 2 章　準備しましょう……15
CF カードを準備する……16
　CF カードについて……16
　CF カードの入れ方……17
　CF カードの出し方……18
マイク、ヘッドホンを接続する……19
　マイクを接続する……19
　ヘッドホンを接続する……19
電源アダプタを接続する……20
電源のオン／オフ……20
起動中、処理中、終了中などの画面表示……21
時刻を設定する……22

## 3 章　使ってみましょう……25
録音しましょう……26
　録音する……26
　録音を止める……28
　再生する……29
　再生音量を調節する……30
　ページ／セクションをつける……31
修正しましょう……32
　修正録音の 3 つの方法……32
　移動する……先頭と最後に移動……34
　移動する……フレーズ移動……35
　移動する……スキップ移動……36

移動する……番号指定移動 37
マークをつける 38
上書き録音する（録音中に録り直す） 39
挿入録音する（読み忘れを割り込ませる） 40
範囲を指定する 41
パンチイン録音する（訂正箇所を差し替える） 42
消去する 43
4 章 使いこなしましょう 45
合計時間、残量時間を表示する 46
再生速度を切り替える 47
操作音をオン／オフする 48
録音設定を変更する 49
ビルドブックする 52
インポートする（DAISY インポート） 53
CF カードの内容を全消去する（フォーマット） 54
バージョンを確認する 55
パソコンにデータを受渡す 56
パソコンに本製品を接続する 56
パソコンにカードリーダーを接続する 58
パソコンに CF カード用 PC カードアダプタを接続する 59
CF カード内容一覧 60
PRS Pro への受渡しについて 60
5 章 主な仕様とオプション 61
主な仕様 62
製品仕様 62
オーディオ特性 63
カードドライブ仕様 63
動作確認済カード、マイク 64
動作確認済カード 64
動作確認済マイク 65
6 章 故障かなと思ったら 66
うまく動作しないときは 67
エラーが表示されたら 70
ノイズが混入したら 74
7 章 用語集／索引／お問い合わせ 75
用語集 76
索引 78
保証およびお問い合わせ 79

# 安全上のご注意

安全にお使いいただくために、必要な事柄について説明しています。
事故を防ぐため、以下の内容を必ずお守りください。

## 本文中の絵表示について

| | |
|---|---|
| ⚠ | この記号は、注意喚起を示しています。 |
| ⊘ | この記号は、行為の禁止を示しています。 |
| ❗ | この記号は、行為の強制を示しています。 |

### ⚠警告

以下の内容を必ずお守りください。誤った取扱をすると、人体に重大な損傷を負う恐れがあります。

- 本製品の隙間からクリップやコイン、ステープラ等の異物を入れないでください。ショートして火災や感電や故障の原因になり、大変危険です。
- 分解、修理、改造をしないでください。火災や感電や故障の原因になり、大変危険です。
- 付属の電源アダプタ、電源コード以外は使用しないでください。火災や感電や故障の原因になります。
- AC100V 50/60Hz 以外の電源では使用しないでください。火災や感電や故障の原因になります。
- お風呂や雨の当たる場所、湿気の多い場所では使用しないでください。火災や感電や故障の原因になります。
- 濡らさないでください。感電の原因になります。水が入ってしまった場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 電源アダプタ、電源コードに熱器具を近づけないでください。被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 電源アダプタ、電源コードを傷つけないでください。重いものを乗せたり、挟んだりすると傷つき、火災や感電の原因となります。

電源アダプタ、電源コードを抜く際、ケーブルを引っ張って抜かないでください。ケーブルが切れて、火災や感電の原因になります。

電源コードのプラグについたほこりは定期的にお取りください。ほこりが火災の原因になります。

たこ足配線をしないでください。定格電流を超えて使用すると、火災や故障の原因になります。

煙が出る、異臭がする、落として破損した等、故障や異常がある場合はただちに使用を中止してください。火災や感電の原因になります。ただちに電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。

上にものを置いたり、布やビニールシート等をかぶせないでください。通気性の悪い場所には置かないでください。機器内部の冷却が不十分になり、火災や感電の原因になります。

ほこりの多い場所、直射日光の当たる場所や暖房器具に近い場所、携帯電話、オーディオアンプ、電子レンジ、トースター、ヘアドライヤー、その他熱や電波を発生する電気製品の近くに置かないでください。火災や感電の原因になります。

## ⚠注意

以下の内容を必ずお守りください。誤った取扱をすると、人体に損傷を負う恐れ、または物的損害が発生する恐れがあります。

電源コンセントの近くに設置し、電源アダプタに容易に手が届くようにしてください。

感電事故、故障防止のため、本製品を移動する際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

長時間ご使用にならない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

移動する際等に、落下や振動、衝撃を与えないようにご注意ください。装置内の精密部分が故障する原因になります。

長時間ヘッドホンをご使用になると聴覚へ悪影響を及ぼす恐れがあります。

汚れを拭き取る場合は、柔らかい清潔な布を用意し、固く絞るか中性洗剤を少し含ませて拭いてください。

シンナー、ベンジン、アルコールの入った溶剤は表面を痛めますので、ご使用にならないでください。

CF カードは正しい向きで挿入してください。間違った向きで挿入すると故障の原因になります。決して無理な力を加えないでください。

# 使用許諾

1. 本取扱説明書（以下「本書」）はシナノケンシ株式会社の著作物です。したがって、定められた場合を除き、本書の一部または全部を無断で複製・複写・転写・転載・改変することは法律で禁止されています。
2. 本書に記載されている内容に関しては、改良のため予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不明な点あるいは不備な点などがありましたら、弊社までご連絡ください。
4. 本製品及び付属品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記に関わらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
5. 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際は、日本政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6. 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により人身事故、火災事故、社会的損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
7. 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート及びアフターサービス等を行なっておりません。予めご了承ください。

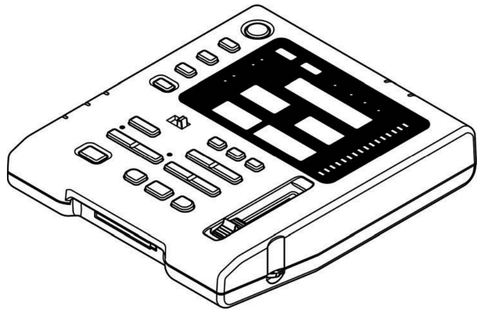
本製品と付属品のライセンスと商標はすべて、弊社その他本製品と付属品の各々の権利者が保持します。

# 1章
# はじめに


パッケージに含まれるもの……………………………… 8
デジタル録音機 DR-1 とは…………………………… 9
DAISY（デイジー）とは…………………………… 10
　DAISY 図書とは ……………………………… 10
　DAISY 図書制作の流れ ……………………… 10
　DAISY の用語…………………………………… 11
各部の名称と働き ………………………………… 12
　ボタン、つまみ………………………………… 12
　入出力、コネクタ等…………………………… 13
　画面表示 ……………………………………… 14

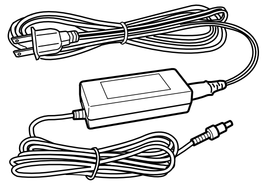
# パッケージに含まれるもの

□デジタル録音機
DR-1
1台



□電源コード　1本

□電源アダプタ　1個



□クイックマニュアル
1枚

☑取扱説明書（本書）
1冊

□保証書
1枚

**パッケージに含まれないもの**

以下のものはパッケージに含まれません。
別途ご用意ください。家電量販店等にてご購入できます。

**・CF カード　・マイク　・ヘッドホン**
**・録音用接続ケーブル　・USB ケーブル**

# デジタル録音機 DR-1 とは

DAISY図書製作の作業については「DAISY図書製作の流れ（P.10）」を参照してください。

DAISY 図書制作における、「録音」「校正」「修正」の作業を行うことができるデジタル録音機です。

## DR-1（本製品）の特長

### ①面倒な設定をせず、すぐに使える

CF カードを入れて、マイクを接続するだけで、すぐに録音できます。※

### ②修正の作業が容易

デジタル録音なので、文章の長さを気にせずに録音の差し替え（はめ込み）が可能です。

### ③作業状況がわかり易い

経過時間や残り録音可能時間、フレーズ数等の表示や、任意の場所に入れることができるマーク、録音音質等の状態の表示によって、作業の状況をすぐに把握できます。

※CF カードとマイクは本製品のパッケージに含まれません。別途ご用意ください。

1章

# DAISY（デイジー）とは

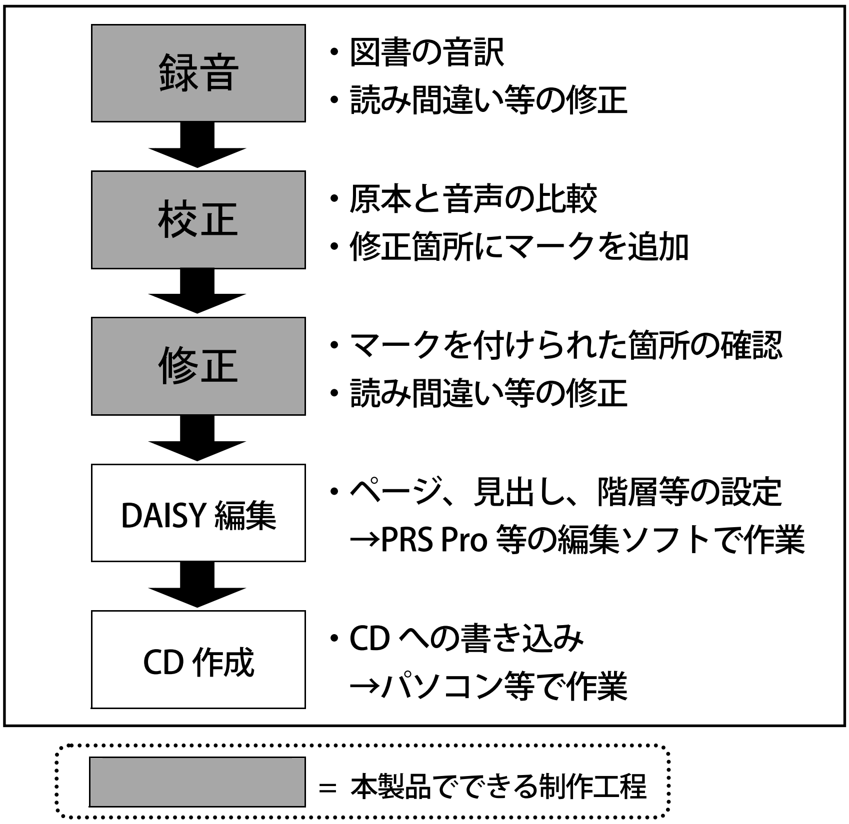
## DAISY 図書とは

**DAISY** とは、視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のために開発されたデジタル録音図書の規格です。
**DAISY 図書**とは、この規格に則って制作された図書のことを言います。

**DAISY 図書のメリット**

**①1 枚の CD に長時間の録音が可能**
**②任意のページや見出しをすぐに出せる**
**③繰り返し聴いても、音質が劣化しない**

## DAISY 図書制作の流れ



# DAISY の用語

## 1）フレーズとは

DAISY では、音声のひと区切りを「フレーズ」と呼びます。フレーズの区切りは、録音中に間（マ）が空くたびに本製品が自動で行います。本製品では編集作業をフレーズ単位で行います。

思い通りにフレーズが区切られない場合は、「録音設定を変更する（P.49）」を参照して調整してください。

例）
昔々あるところに、（間）おじいさんとおばあさんがいました。（間）
フレーズ 1　フレーズ 2
おじいさんは山へ柴刈りに、（間）おばあさんは川へ洗濯に行きました。（間）
フレーズ 3　フレーズ 4

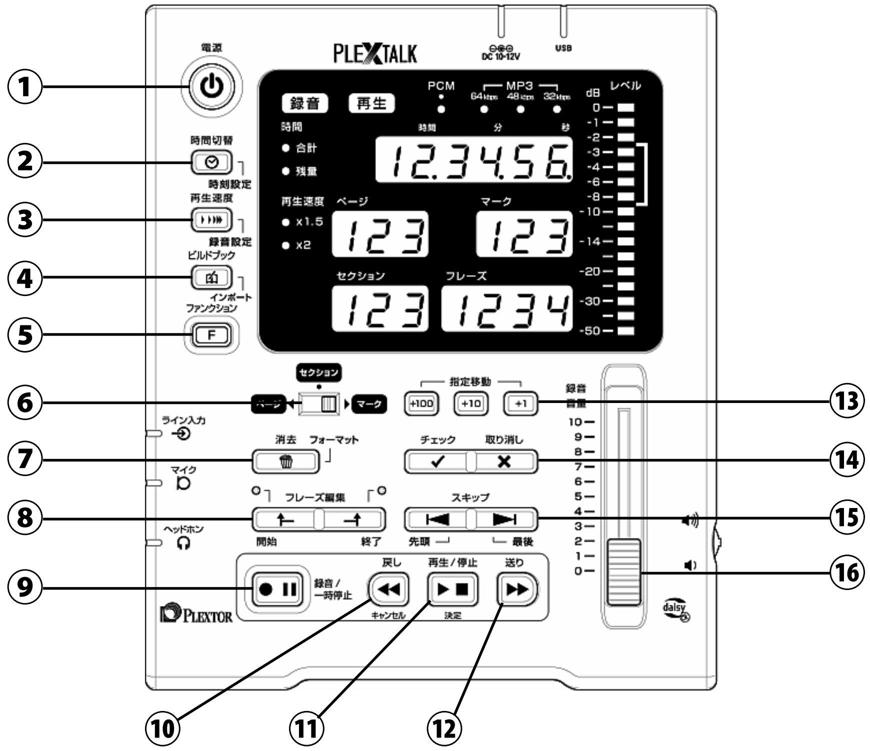
## 2）セクションとは

DAISY では、ある見出しから次の見出しの直前までのフレーズのかたまりを「セクション」と呼びます。
章の区切りごとに、セクションを設定することで、頭出しがしやすくなります。

1 章

# 各部の名称と働き

## ボタン、つまみ




### ①電源
電源のオン／オフをします。

### ②時間切替
時間表示の切替と時刻設定をします。

### ③再生速度
再生速度の切替と録音設定をします。

### ④ビルドブック
ビルドブックとインポートをします。

### ⑤ファンクション
各ボタンと組み合わせて使います。

### ⑥切替スイッチ
移動（設定）単位を切り替えます。

### ⑦消去
録音した内容を消去します。

### ⑧フレーズ編集
フレーズの範囲を選択します。

### ⑨録音／一時停止
録音ポーズ／録音します。

### ⑩戻し
フレーズ単位で戻ります。

### ⑪再生／停止
再生／停止します。

### ⑫送り
フレーズ単位で送ります。

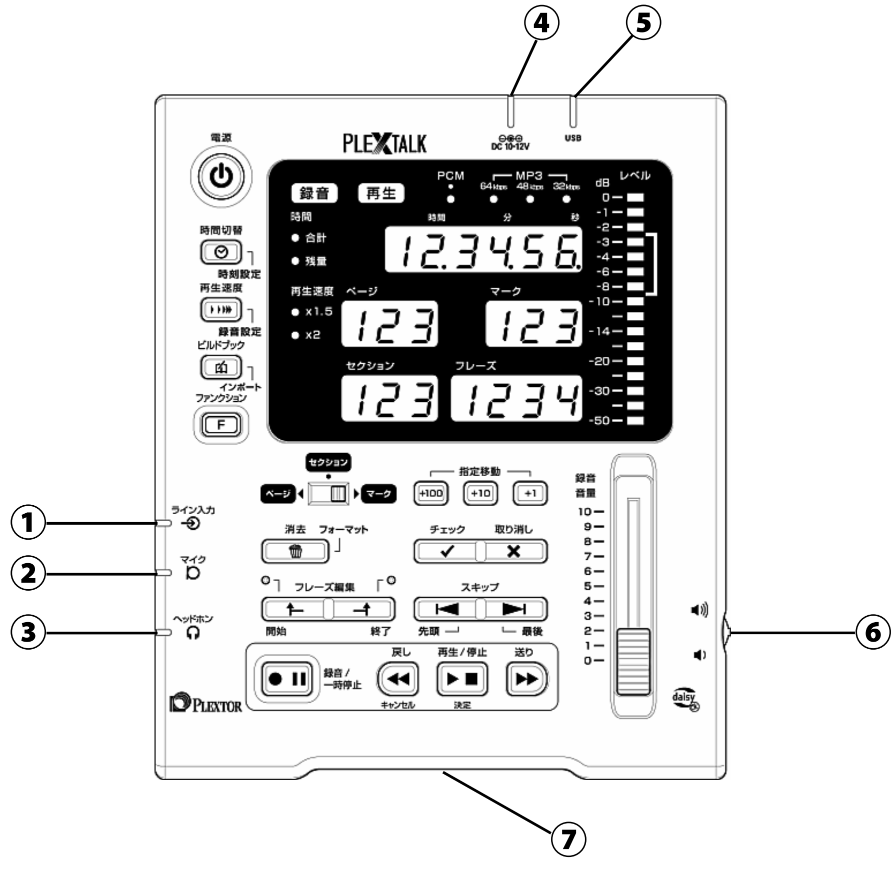
### ⑬指定移動
移動先の位置を設定します。

### ⑭チェック、取り消し
ページ、セクション、マークを設定します。

### ⑮スキップ
選択した移動単位で移動します。

### ⑯録音音量つまみ
録音音量を調節します。

# 入出力、コネクタ等




## ①ライン入力
テープデッキ等を接続します。

## ②マイク入力
マイクを接続します。

## ③ヘッドホン出力
ヘッドホンを接続します。

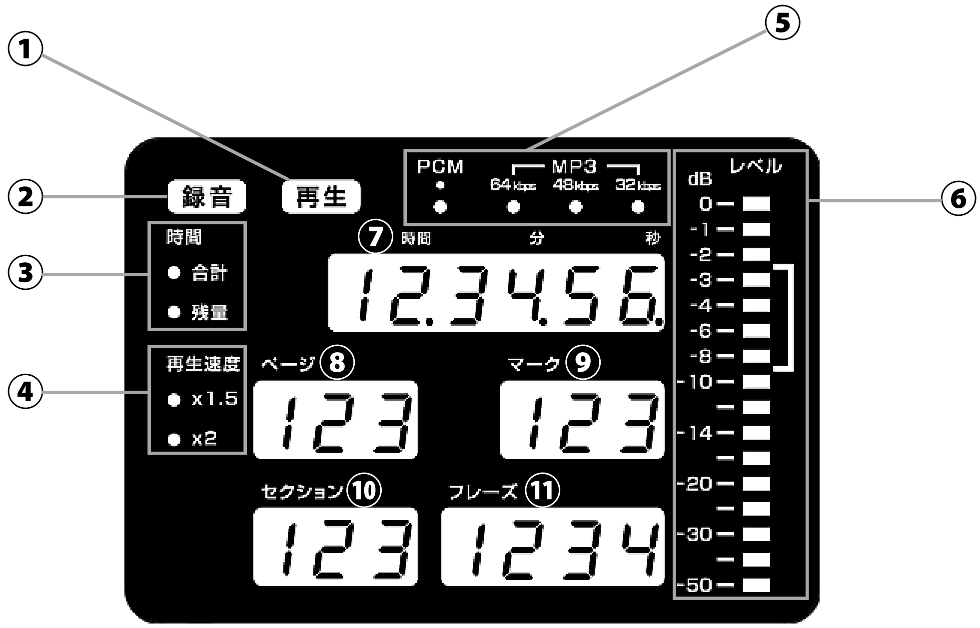
## ④DC 入力端子
付属の電源アダプタを接続します。

## ⑤USB ケーブルコネクタ
USB ケーブルでパソコンと接続します。

## ⑥音量シャトル
再生音量を調節します。

## ⑦CF カード挿入口
CF カードを挿入します。

# 画面表示




### ①再生ランプ
再生中、点灯します。

### ②録音ランプ
録音ポーズ時に点滅、録音中に点灯します。

### ③時間ランプ
現在表示している時間の状態を表示します。

### ④再生速度ランプ
再生速度の状態を表示します。

### ⑤音質ランプ
現在選択している録音音質を表示します。

### ⑥録音レベル
録音レベルを表示します。

### ⑦時間表示
現在の経過時間、合計時間、または残量時間を表示します。

### ⑧ページ
現在のページを表示します。

### ⑨マーク
現在のマークを表示します。

### ⑩セクション
現在のセクションを表示します。

### ⑪フレーズ
現在のフレーズを表示します。

# 2 章
# 準備しましょう


CF カードを準備する ………………………………… 16
　CF カードについて ………………………………… 16
　CF カードの入れ方 ………………………………… 17
　CF カードの出し方 ………………………………… 18
マイク、ヘッドホンを接続する …………………… 19
　マイクを接続する ………………………………… 19
　ヘッドホンを接続する …………………………… 19
電源アダプタを接続する …………………………… 20
電源のオン／オフ …………………………………… 20
起動中、処理中、終了中などの画面表示 ………… 21
時刻を設定する ……………………………………… 22

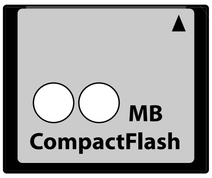
# CF カードを準備する

## CF カードについて

本製品で使用できる CF カードの種類については「動作確認済カード（P.64）」を参照してください。

CF（コンパクトフラッシュ※）カードには、大別してハードディスクタイプとメモリータイプ（Type I と Type II）がありますが、本製品でご使用いただけるのはメモリータイプの Type I の CF カードのみです。Type II の CF カードは、本製品ではご使用いただけません。
CF カードは最大 8GB まで使用可能です。

※「コンパクトフラッシュ」は SanDisk 社の登録商標です。




CF カード

### ●CF カードの容量と録音時間の目安

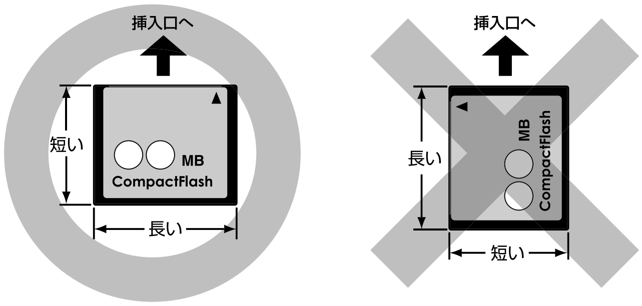
| 記録形式 | PCM | MP3 | | |
|---|---|---|---|---|
| 音質 | 22.05kHz | 64kbps | 48kbps | 32kbps |
| 512MB | 2.5 時間 | 15 時間 | 20 時間 | 30 時間 |
| 1 GB | 6 時間 | 30 時間 | 40 時間 | 60 時間 |
| 2 GB | 12 時間 | 60 時間 | 80 時間 | 120 時間 |
| 4 GB | 24 時間 | 120 時間 | 160 時間 | 240 時間 |
| 8 GB | 48 時間 | 240 時間 | 320 時間 | 480 時間 |

■録音の誤りを修正しても、修正前の音声が CF カードの容量を消費しますので、あらかじめ大き目の CF カードを準備してください。

## CF カードの入れ方

① 電源をオフにします。

② 横に長く、前後に短い向きにします。



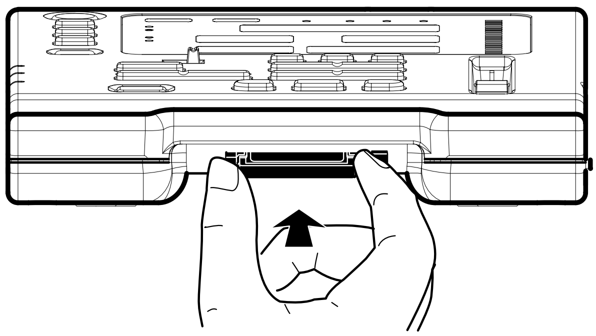

③ 突起部分を手前、下向きにします。




④ 本体正面の CF カード挿入口に挿入します。

→CF カードは正しい向きで挿入し、決して無理な力を加えないでください。

→CF カードは奥までしっかりと挿入してください。奥まで挿入しないと「NO CARD」と表示され、カードが認識されない場合があります。



**⚠注意**

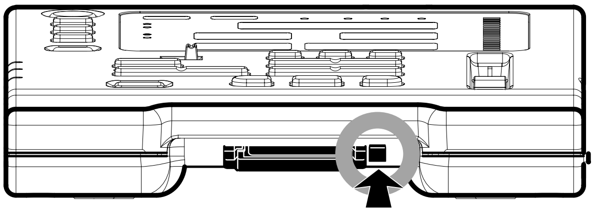
■CF カードにラベルなどを貼付してご利用になると、カード挿入時にラベルがはがれ、挿入・排出不良になる恐れがあります。

■CF カードの出し入れは、必ず電源オフ状態で行ってください。

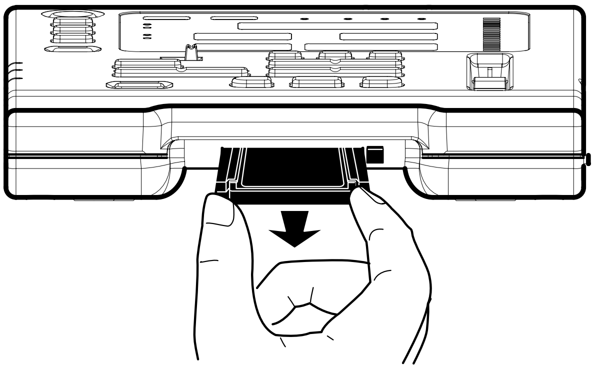
## CF カードの出し方

① 電源をオフにします。

② 取り出しレバーを押します。



③ CF カードをつまんで取り出します。



⚠注意

■ 電源が入った状態で CF カードを抜くとデータが破壊される可能性があります。

■ 電源を切った直後に CF カードを抜く際は、表示画面が完全に消灯してから CF カードを抜いてください。表示画面点滅中に CF カードを抜くとデータが破壊される可能性があります。

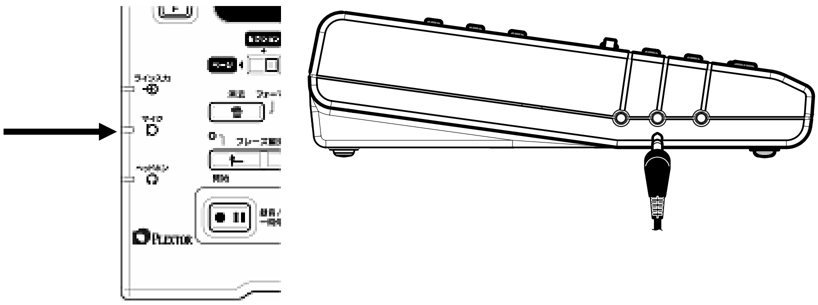
# マイク、ヘッドホンを接続する

## マイクを接続する

### 本体左側面のマイク入力に接続します。

→ライン入力とマイク入力を同時に接続した場合、マイク入力が優先されます。このとき、ライン入力の音声は録音されません。

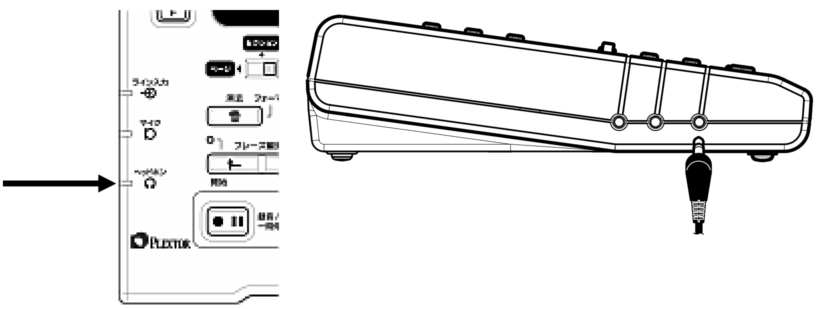
本製品で使用できるマイクの種類については「動作確認済マイク（P.65）」を参照してください。



■本製品で使用できるマイクは、ダイナミックマイク、または電池付のコンデンサマイクです。プラグインパワーには、対応しておりません。

## ヘッドホンを接続する

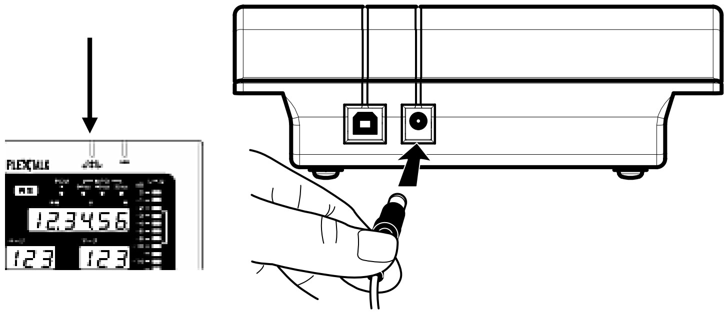
### 本体左側面のヘッドホン出力に接続します。



# 電源アダプタを接続する

① 本体背面の DC 入力端子に接続します。

→本体付属以外の電源アダプタを使用しないでください。



② 電源プラグをコンセントに接続します。

⚠警告

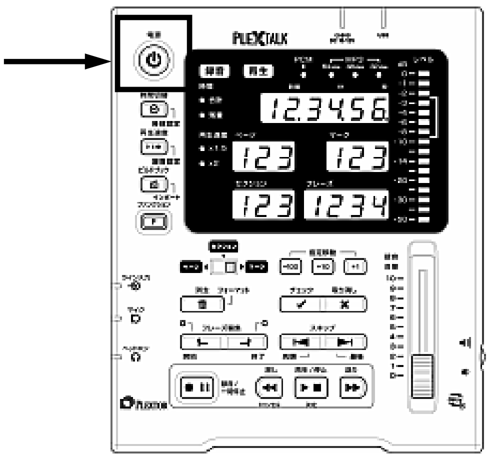
■ 付属以外の電源アダプタを使用しないでください。火災や感電の原因になります。

# 電源のオン／オフ

初回電源オン時には時刻を設定する必要があります。手順は「時刻を設定する（P.22）」を参照してください。

本体上面の電源ボタンを押します。

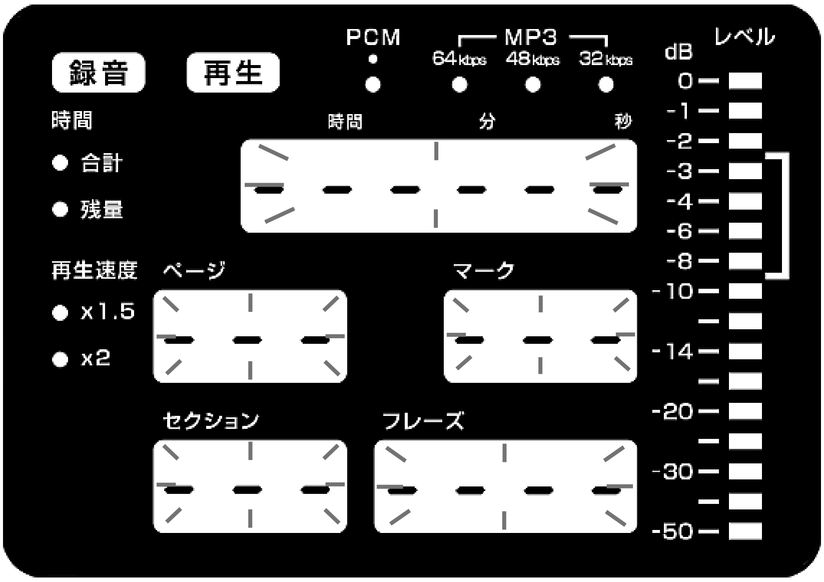
→押す毎にオン／オフします。
→起動／終了には数秒かかります。



■電源オフ時に最後に停止した場所を自動的に記憶しますので、再び電源をオンにした際に、前回停止した場所から再生できます。

# 起動中、処理中、終了中などの画面表示

本製品の画面表示部は、起動中、終了中または時間のかかる処理中は、図のように時間表示部からフレーズ表示部までのランプが横一線状に点滅します。点滅中はしばらくお待ちください。




⚠注意

**表示画面点滅中に以下の操作をしないでください。録音データが破壊される可能性があります。**
**■電源を切る。**
**■電源アダプタを抜く。**
**■USB ケーブルを差す。**
**■CF カードを抜く。**

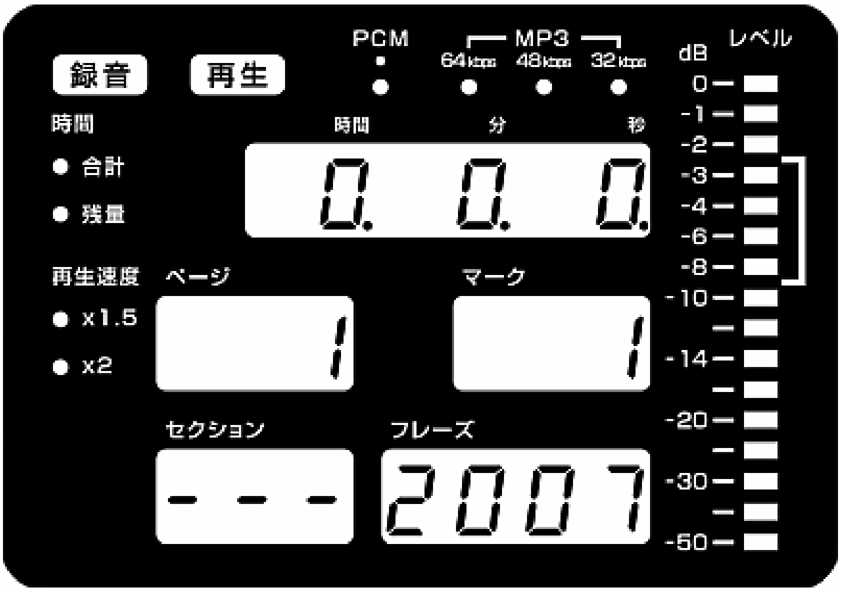
2章

# 時刻を設定する

本製品では録音したデータを保存・管理する際、時刻の情報を利用します。
初めてお使いになる際や長時間ご使用にならなかった際は、電源を入れた後に自動的に時刻設定の状態となります。

→時刻設定は、内蔵の充電式バックアップ電池によって保存されます。初めて使用される際や、長く使用していなかった際は 24 時間以上通電してフル充電してください。
→正確な時刻との差が大きい場合は、定期的に時計を再設定してください。

最初に電源を入れた時には次のような画面が表示されます。




注意：時間表示部に時刻、ページ表示部に月、マーク表示部に日、フレーズ表示部に年が表示されます。
：ご購入の時期により上の表示とは異なる場合があります。

■下記の例では、2007 年 6 月 8 日、午前 9 時 30 分を設定しています。

① [F]（ファンクション）を押しながら[時刻設定]を押します。




→初回電源オン時は押す必要がありません。

② 表示の点滅を確認します。




→時間表示部（時間）が点滅します。

③ [先頭]と[最後]で時間を設定します。



点滅

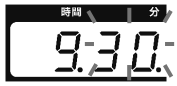
④ [終了]を押します。

→分表示部（分）が点滅します。



点滅

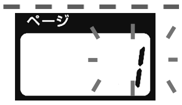
⑤ [先頭]と[最後]で分を設定します。



点滅

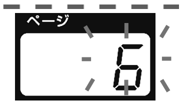
⑥ [終了]を押します。

→ページ表示部（月）が点滅します。



点滅

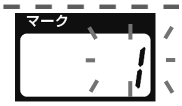
⑦ [先頭]と[最後]で月を設定します。



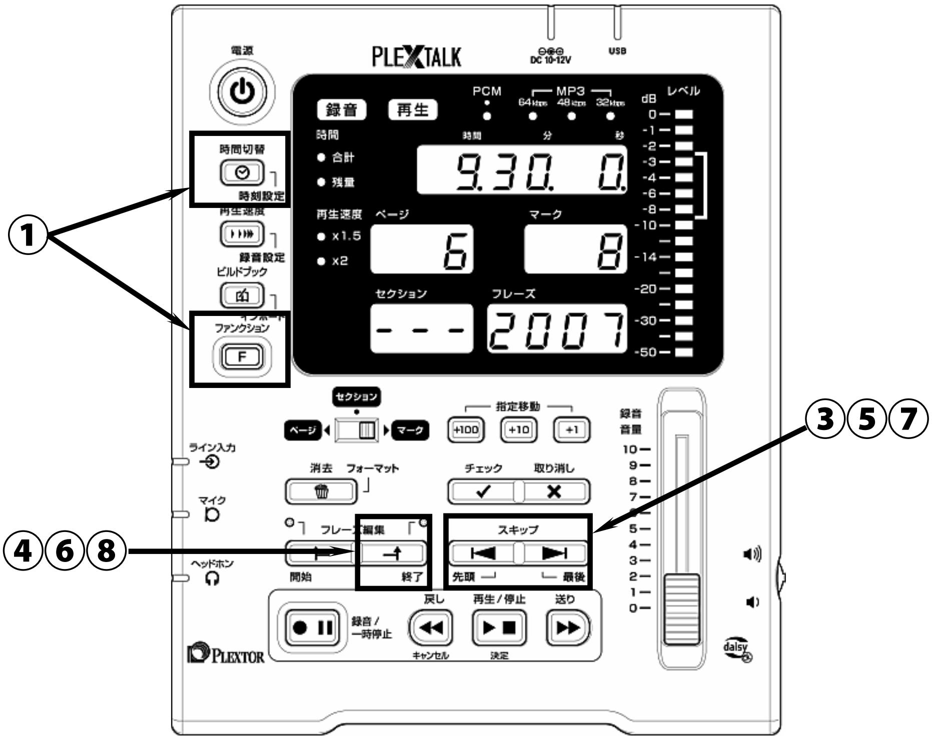
点滅

⑧ [終了]を押します。

→マーク表示部（日）が点滅します。

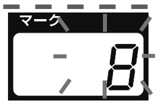


点滅




2章

⑨ [⏮ 先頭]と[⏭ 最後]で日を設定します。



点滅

⑩ [終了]を押します。
→フレーズ表示部（年）が点滅します。



点滅

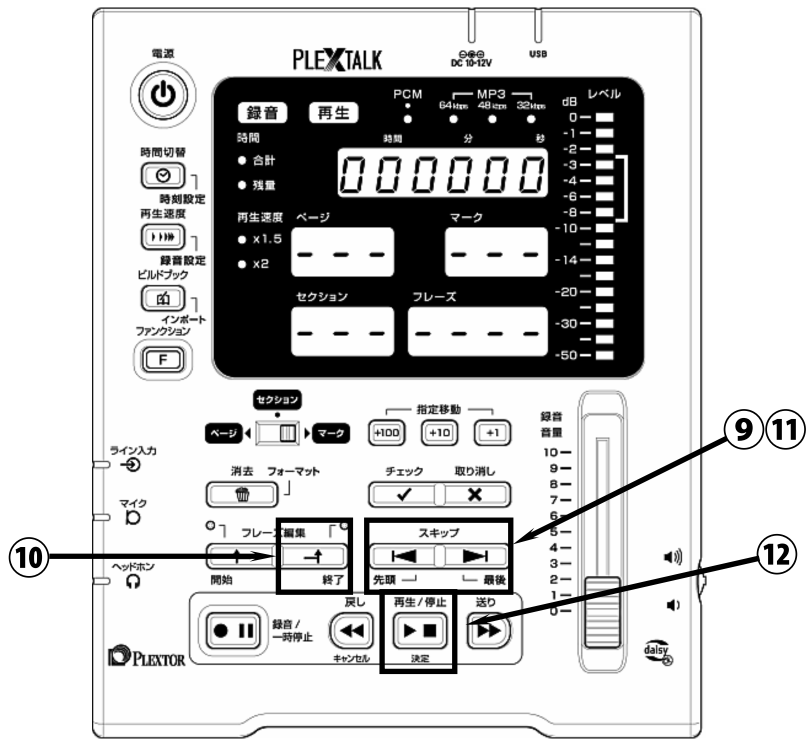
⑪ [⏮ 先頭]と[⏭ 最後]で年を設定します。



点滅

⑫ [再生／停止 ▶■ 決定]を押して決定します。

■キャンセルする場合はキャンセルキー(戻しキー)を押してください。
■ただし、初回電源オン時の時刻設定はキャンセルできません。



# 3章
# 使ってみましょう



録音しましょう …… 26
　録音する …… 26
　録音を止める …… 28
　再生する …… 29
　再生音量を調節する …… 30
　ページ／セクションをつける …… 31
修正しましょう …… 32
　修正録音の 3 つの方法 …… 32
　移動する＜先頭と最後に移動＞ …… 34
　移動する＜フレーズ移動＞ …… 35
　移動する＜スキップ移動＞ …… 36
　移動する＜番号指定移動＞ …… 37
　マークをつける …… 38
　上書き録音する（録音中に録り直す） …… 39
　挿入録音する（読み忘れを割り込ませる） …… 40
　範囲を指定する …… 41
　パンチイン録音する（訂正箇所を差し替える） 42
　消去する …… 43

# 録音しましょう

## 録音する

① [F](ファンクション)を押しながら[►I](最後)を押して最後へ移動します。

② 「End」表示になっていることを確認します。




→フレーズ表示部に表示されます。
→「End」表示は、最後であることを示します。
→空のカードの場合、フレーズ表示部に「- - - -」と表示されます。

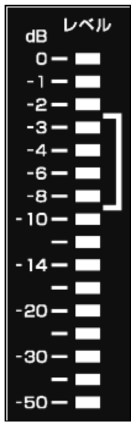
③ [● II](録音／一時停止)を押します。



点滅

→録音ポーズ状態になります。
→録音ランプが**点滅**します。

④ **録音音量つまみを調節します。**




→マイクに向かって、朗読するときの大きさと早さで声を出しながら録音音量つまみを調節してください。
→**最大音量が –3dB ～–8dB の範囲内に入るように調節してください。**
→実際の録音中には瞬間的に大きな音が入ることがあります。–3dB を超えないように注意してください。

■録音設定は初期設定のままでご使用いただけます。
■周囲の環境に応じて録音設定を変更する場合は「録音設定を変更する（P.49）」を参照してください。

思い通りにフレーズが区切られない場合は、「録音設定を変更する（P.49）」を参照して調整してください。

⑤　**フレーズを確認します。**

→音声に間（マ）が空くたびにフレーズの数が増えることを確認してください。



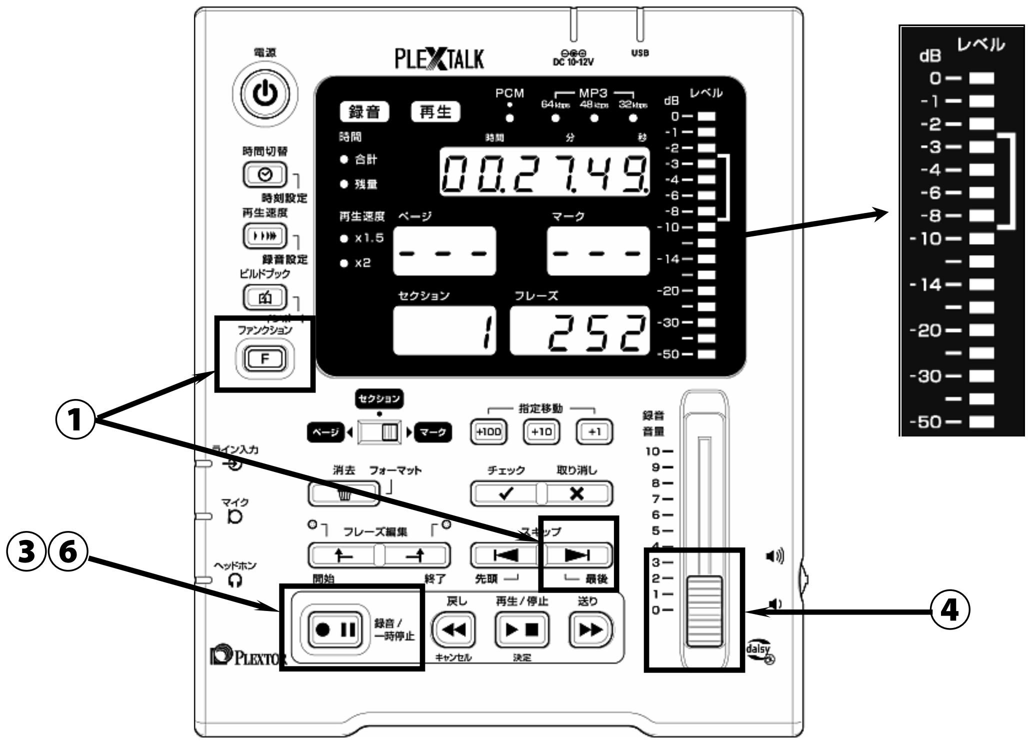
点滅

⑥　録音／一時停止 ●II を押します。

→録音が始まります。
→録音ランプが**点灯**します。



点灯




3章

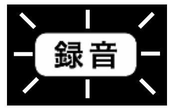
# 録音を止める

## ■ 録音を一時停止する場合

録音／一時停止

を押します。

→録音ポーズ状態になります。




点滅

■録音ポーズ状態から再度録音する場合

録音／一時停止

を押します。

→録音が始まります。




点灯

## ■ 録音を停止する場合

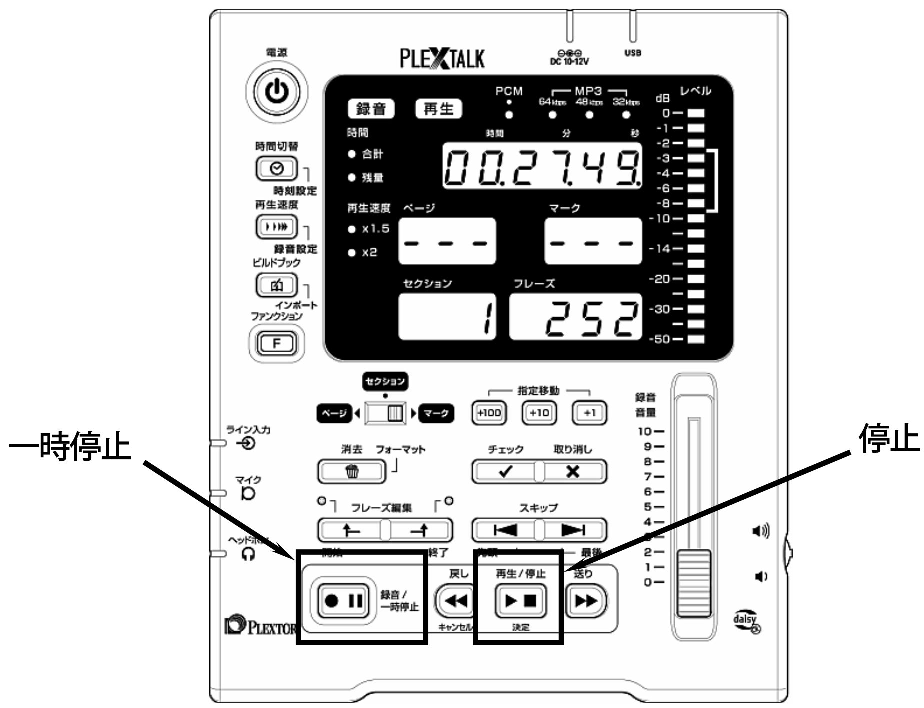
再生／停止

を押します。

→停止状態になります。




消灯



# 再生する

① 停止状態を確認します。

→録音マークの消灯を確認します。




消灯

② 戻し ◀◀ または 送り ▶▶ を押します。




→聴きたい場所まで移動します。
→1 回押すと 1 フレーズ移動します。
→長押しすると、高速に移動します。

このほかの移動方法については、「移動する （P. 34-37）」を参照してください。

③ ボタンを離します。※

→1 フレーズ再生して自動的に停止します。

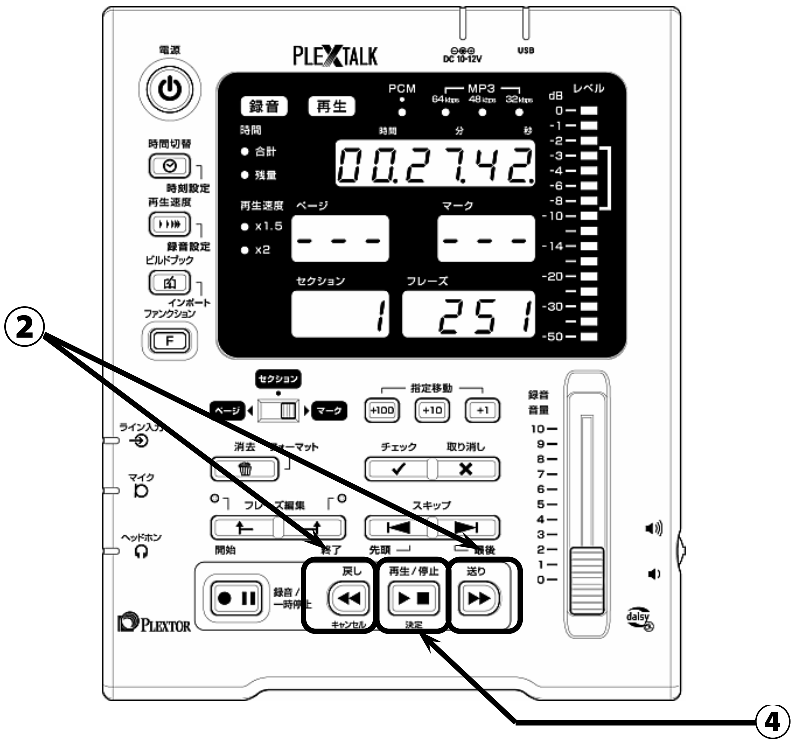
④ 再生／停止 ▶■ を押します。

→再生します。




点灯

※先頭または最後まで移動するとフレーズ表示部に「toP」または「End」と表示され、再生せずに停止します。



## 再生音量を調節する

本体右側面の音量シャトルで調節します。音の大きさの範囲は 0〜16 で、0 の場合は、ミュート（無音）になります。初期設定値は 8 です。

■音量を下げる場合

**音量シャトルを手前に倒します。**

→音量が表示されます。




無音

■音量を上げる場合

**音量シャトルを奥に倒します。**

→音量が表示されます。




最大

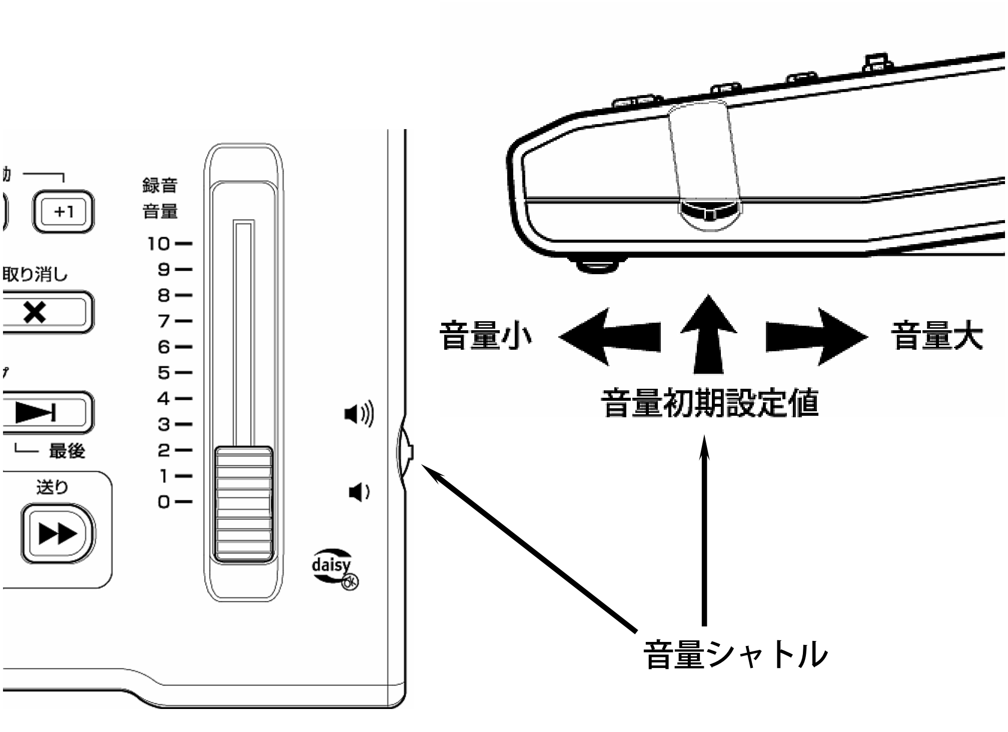
■音量を 8（初期設定値）に戻す場合

**音量シャトルを本体側に押します。**

→音量が表示されます。




初期設定値



# ページ／セクションをつける

本製品では DAISY 図書に必要となるページ／セクションなどの情報を追加することができます。追加した情報は DAISY 編集作業に引き継がれ、DAISY 図書制作の効率化が図れます。

ここでは 12 フレーズ目に 1 ページ目を付ける例を説明します。

**① 切替スイッチで選択します。**




→ページまたはセクションを選択します。

移動の手順については「移動する（P. 34-37」を参照してください。

**② 戻し または 送り を押します。**




→ページ／セクションをつけるフレーズに移動します。

**③ チェック ✓ を押します。**

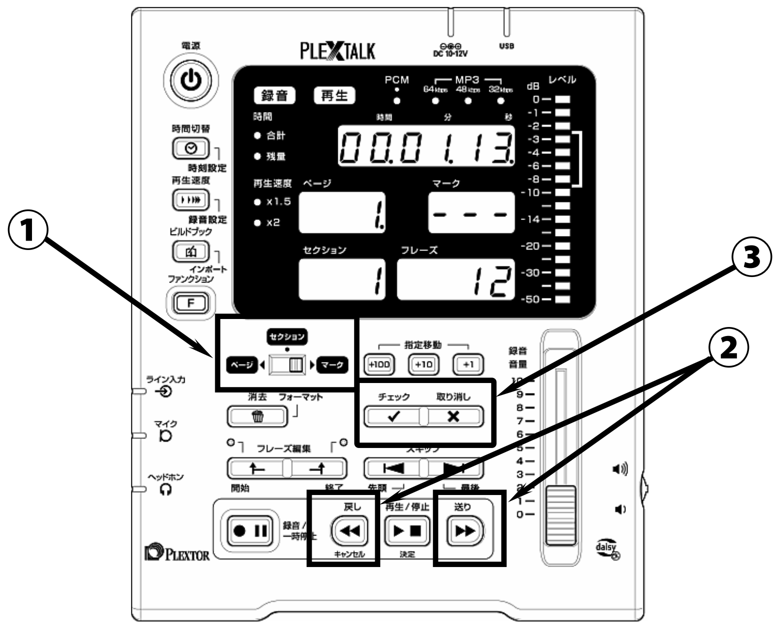



→押す毎にページ／セクション表示の値が増えるのを確認します。

■ページ／セクションを外す場合

**取り消し ✖ を押します。**

■ページ／セクションは停止中だけでなく、録音中や再生中、一時停止中にも追加が可能です。
■一時停止中に追加する場合、ページ／セクション表示が点滅し、録音を開始した最初のフレーズにつけられます。




3章

# 修正しましょう

## 修正録音の 3 つの方法

朗読の録音などでは、誤って読んだ部分をあとから修正することがよくあります。

修正録音には、上書き録音、挿入録音、パンチイン録音という 3 つの方法があります。
以下で 3 つの録音方法の特徴について説明しますが、各々の具体的な操作方法は本書の「上書き録音する(p.39)」、「挿入録音する(p.40)」、「パンチイン録音する(p.42)」をご覧ください。

以下では、説明を簡単にするために、録音するフレーズを「A、B、C、……」などの文字で表し、文字の上の番号「1、2、3、……」がフレーズ番号を表すことにします。

### 1）上書き録音

**録音中**に誤りに気づき、すぐその場で修正を行う操作です。

たとえば

| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
| A | B | C | D |

と読み進んだところで、C の部分の読み間違いに気づいたとします。
まず録音を一時停止状態にします。ここで録音を停止してしまうと上書き録音はできません。必ず一時停止状態にしてください。次に C が再生されるところまで戻ります。そして録音を再開し E、F を録音します。すると、C、D が消えて、A、B の後ろに E、F が録音され、

| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
| A | B | E | F |

という順番になります。

## 2）挿入録音

**録音終了後**、すでに録音されたものの途中に、読み忘れた部分などを割り込ませる操作です。

たとえば

| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
| A | B | C | D |

とと録音されたところに、B と C の間に読み忘れた E と F を挿入することにします。
まず B まで戻ります。次に E と F を録音します。これにより、B と C の間に E と F が挿入され、

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|
| A | B | E | F | C | D |

という順番になります。

## 3）パンチイン録音

**録音終了後**、間違えた部分を消して、正しい内容と差し替える操作です。差し替えの前後で長さが違っても構いません。

たとえば

| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
| A | B | C | D |

と録音されたところに、 B、C を消して、そのかわりに E、F、G をはめ込むことにします。
まず B まで戻ります。次に B から C までの範囲を選択します。その後、E、F、G を録音します。これにより、B、C が消えて、

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|
| A | E | F | G | D |

という順番になります。

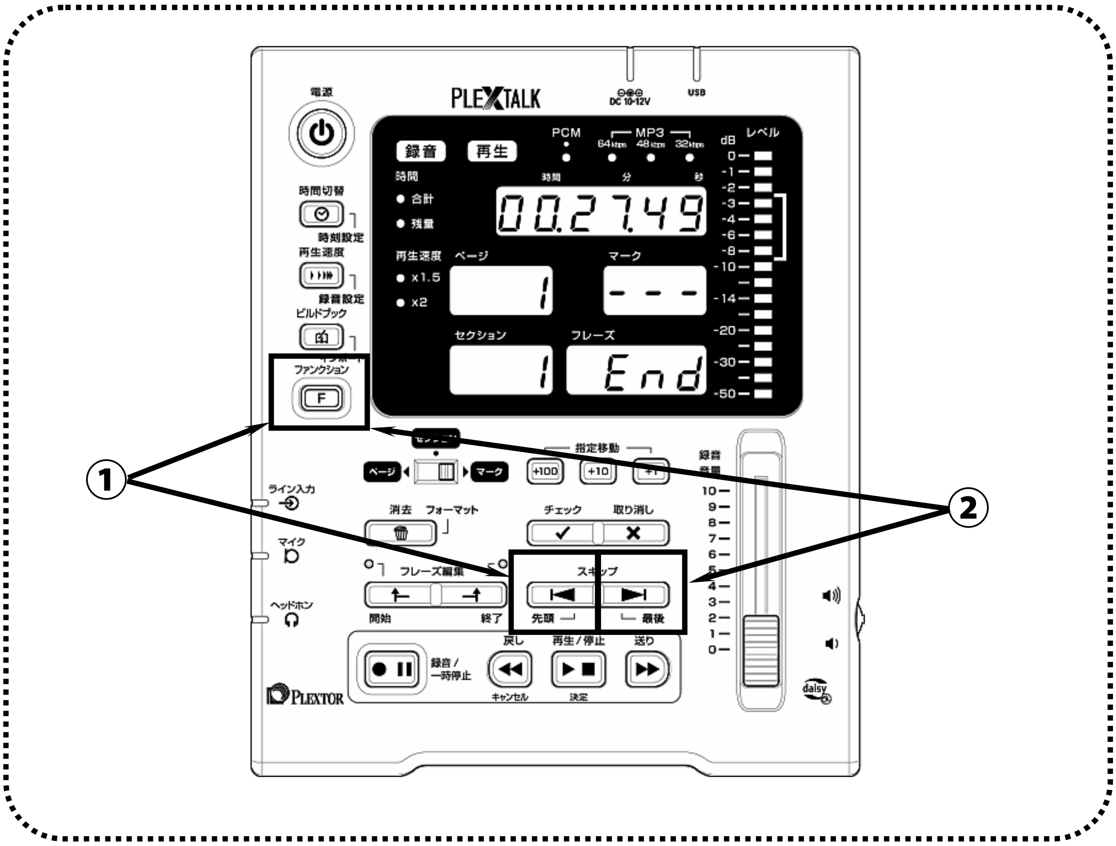
# 移動する……先頭と最後に移動

① F（ファンクション）を押しながら ⏮（先頭）を押すと先頭へ移動します。




② F（ファンクション）を押しながら ⏭（最後）を押すと最後へ移動します。



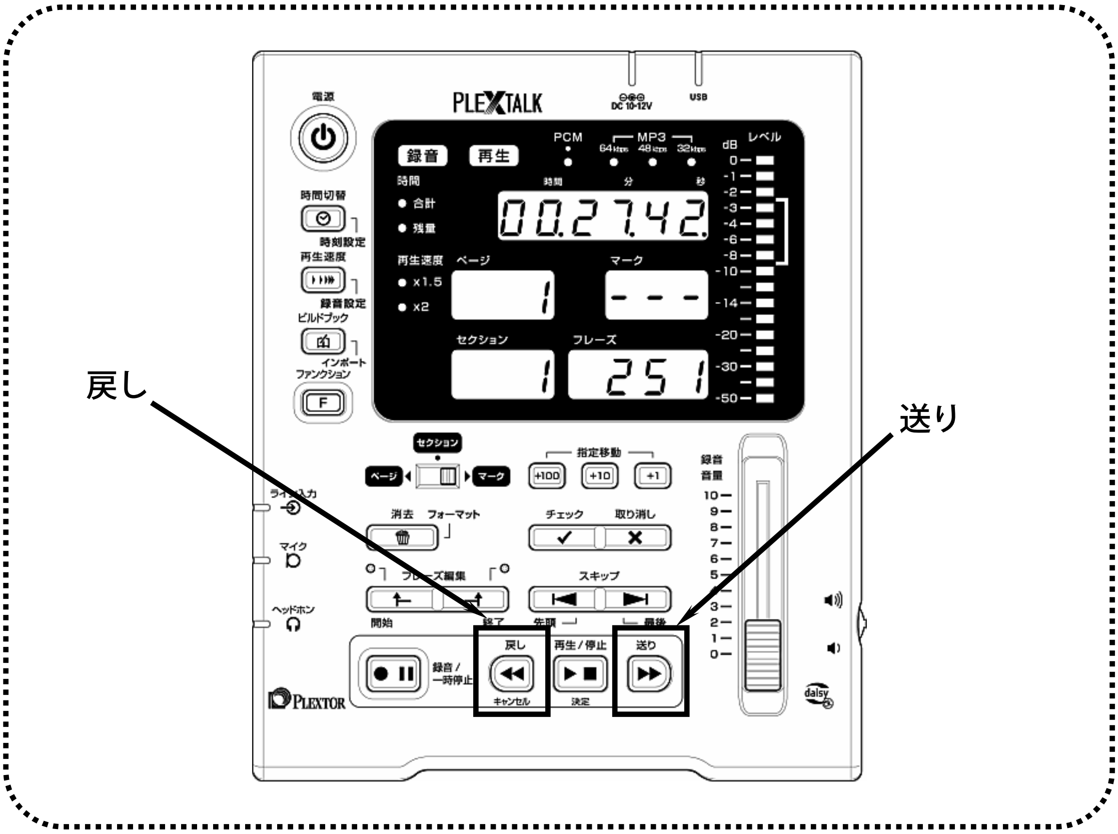



# 移動する……フレーズ移動

## 戻しまたは送りを押します。




→1 回押すと 1 フレーズ移動します。
→長押しすると、高速に移動します。
→ボタンを離すと、1 フレーズ再生して停止します。

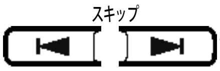


# 移動する……スキップ移動

① 切替スイッチで選択します。

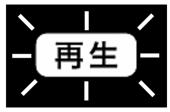



→移動の単位（ページ／セクション／マーク）を選択します。

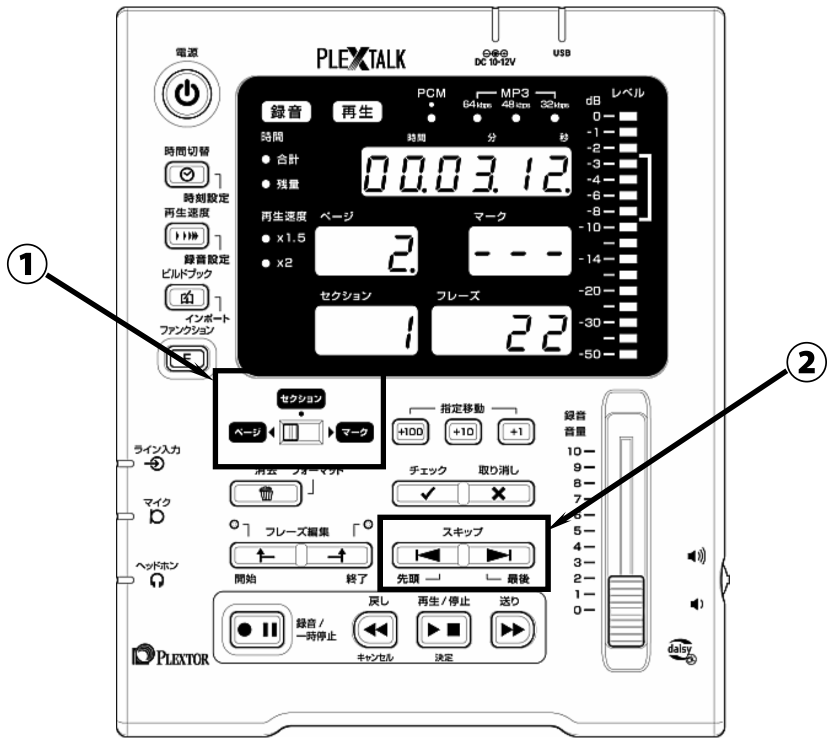
② 

で前後に移動します。

→1 回押すと、選択した単位（ページ／セクション／マーク）で 1 単位移動します。
→長押しすると、高速に移動します。
→ボタンを離すと、1 フレーズ再生して停止します。



点灯



# 移動する……番号指定移動

① 切替スイッチで選択します。

→移動の単位（ページ／セクション／マーク）を選択します。




② [+100] [+10] [+1]（指定移動）で入力します。

→移動先の番号を入力します。
→各ボタンでそれぞれの桁毎に値を入力します。
→フレーズの番号指定はできません。

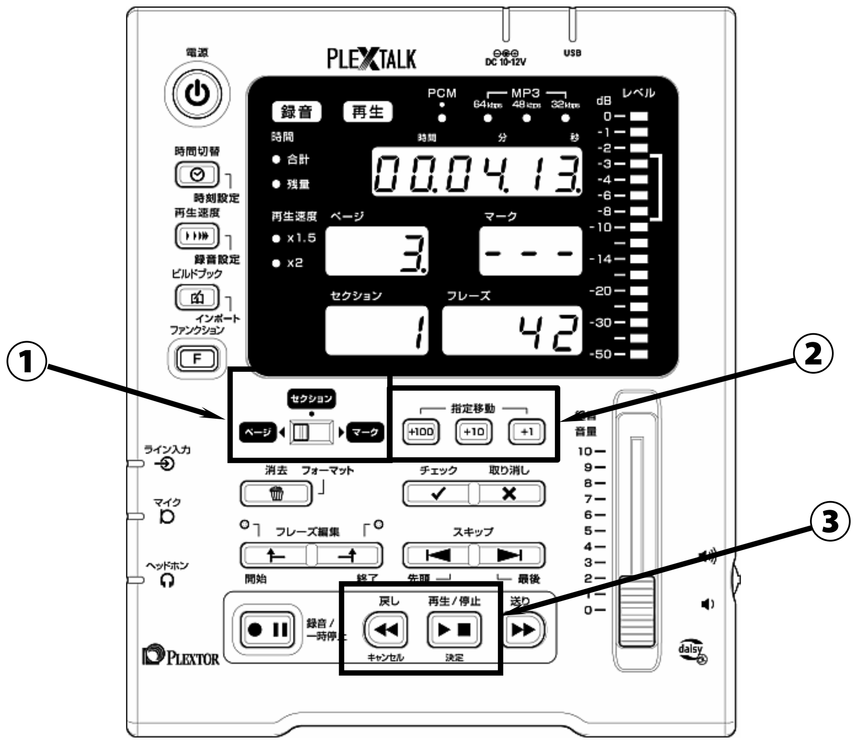



③ [▶■]（再生／停止・決定）を押して決定します。




■キャンセルする場合

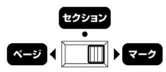
[◀◀]（戻し・キャンセル）を押してキャンセルします。



## マークをつける

朗読内容の間違いに気付いた場合や後で確認したい箇所がある場合、マークを付けて目印にする事ができます。マークは PRS Pro でも表示されますので校正・編集作業の際に活用できます。

① 切替スイッチで選択します。




→マークを選択します。

移動の手順については「移動する（P. 34-37」を参照してください。

② 

または

を押します。




→マークをつけるフレーズに移動します。

③ 

を押します。



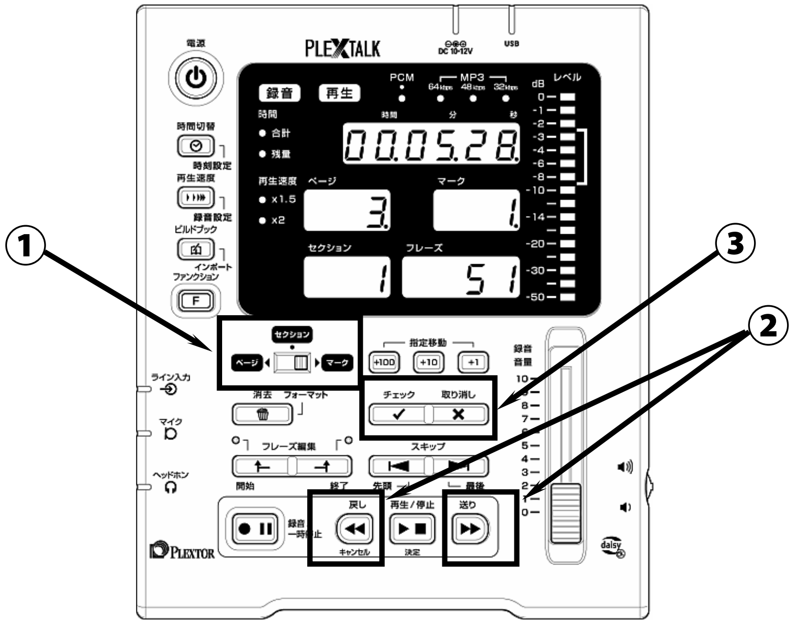

→押す毎にマーク表示の値が増えるのを確認します。

■マークを外す場合



を押します。

■マークは停止中だけでなく、録音中や再生中、一時停止中にも追加が可能です。一時停止中に追加する場合は、マーク表示が点滅し、録音を開始した最初のフレーズにつけられます。



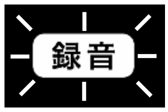
# 上書き録音する（録音中に録り直す）

録音中に読み間違えに気づいた場合、録音の途中で以下の操作を行ない、間違い部分を録音し直してください。

停止してからの修正手順については「挿入録音する（P.40）」と「パンチイン録音する（P.42）」を参照してください。

## ① 録音中に［録音／一時停止］を押します。

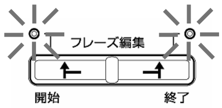
→録音ポーズ状態になります。
→停止ボタンを押してしまうと上書き録音はできません。



点滅

## ② ［戻し］を押します。

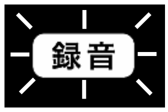
→読み間違えたフレーズまで戻します。なお、戻れる範囲は 20 フレーズです。ただし、録音開始ポイントより前には戻れません。
→戻したフレーズから最後に録音されたフレーズまでが選択され、最初の１フレーズが再生されます。



点滅

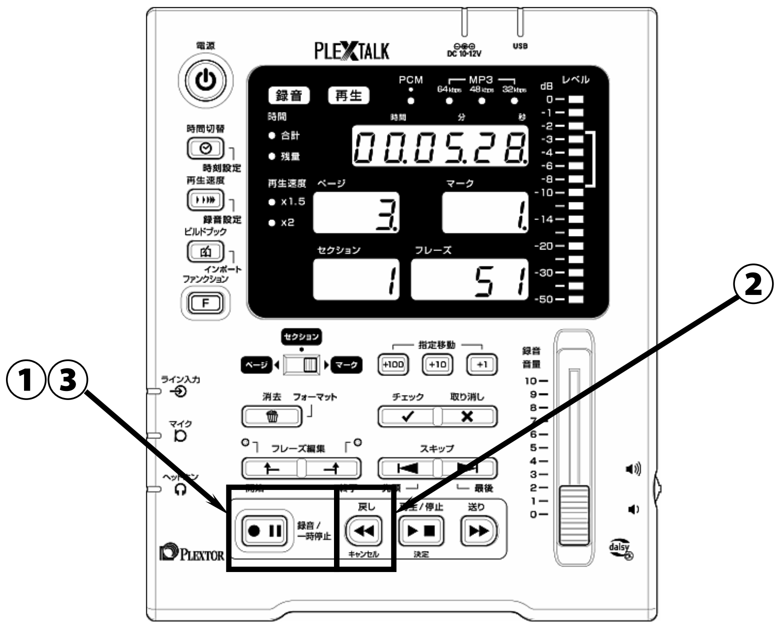
## ③ ［録音／一時停止］を押します。

→録音が始まります。
→選択された範囲が、差し替えられます。



点灯

■PCM 音質で上書き録音した場合は修正した音声を自動的に削除し、CF カードの使用容量を節約します。



## 挿入録音する（読み忘れを割り込ませる）

録音終了後に読み忘れた部分を割り込ませる場合、挿入録音を行います。録音は表示中のフレーズの後ろに挿入されます。なお、挿入録音を行っても、すでに録音してある部分が消えてしまうことはありません。

① **録音停止状態を確認します。**



消灯

> 移動の手順については「移動する（P.34-37」を参照してください。

② **挿入する場所に移動します。**

③ 録音／一時停止 **を押します。**

→録音ポーズ状態になります。



点滅

> 録音音量調節の手順については「録音する(P.26」を参照してください。

④ **録音音量を調節します。**

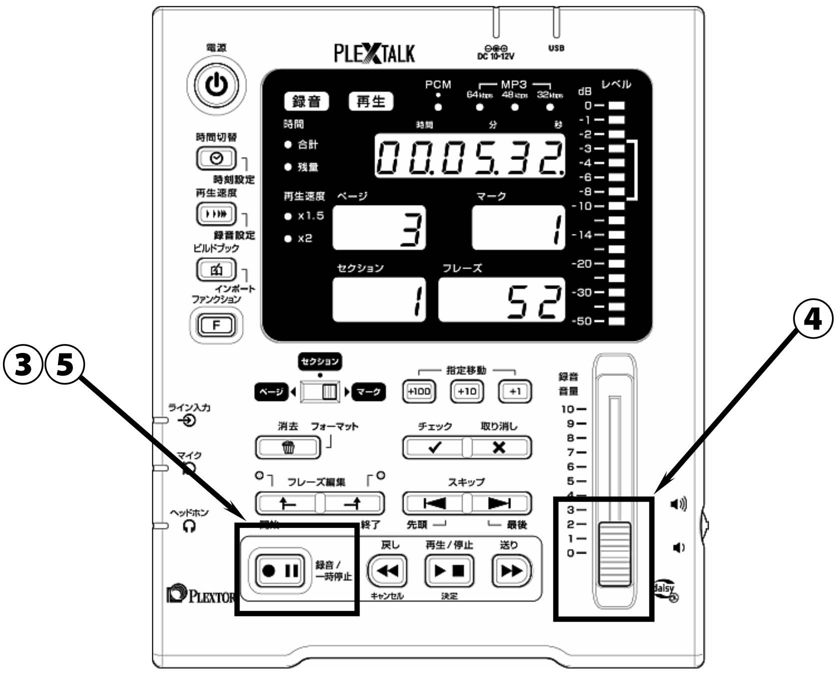
→必要に応じて調節します。

⑤ 録音／一時停止 **を押します。**

→録音が始まります。



点灯

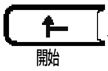


# 範囲を指定する

パンチイン録音(p.42)や消去(p.43)する場合、対象範囲を指定します。

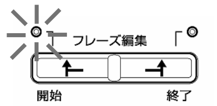
移動の手順については「移動する（P. 34-37」を参照してください。

① **指定範囲の先頭に移動します。**

② 

**を押します。**

→範囲の先頭を指定しました。



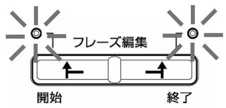

点灯

③ **指定範囲の最後に移動します。**

④ 

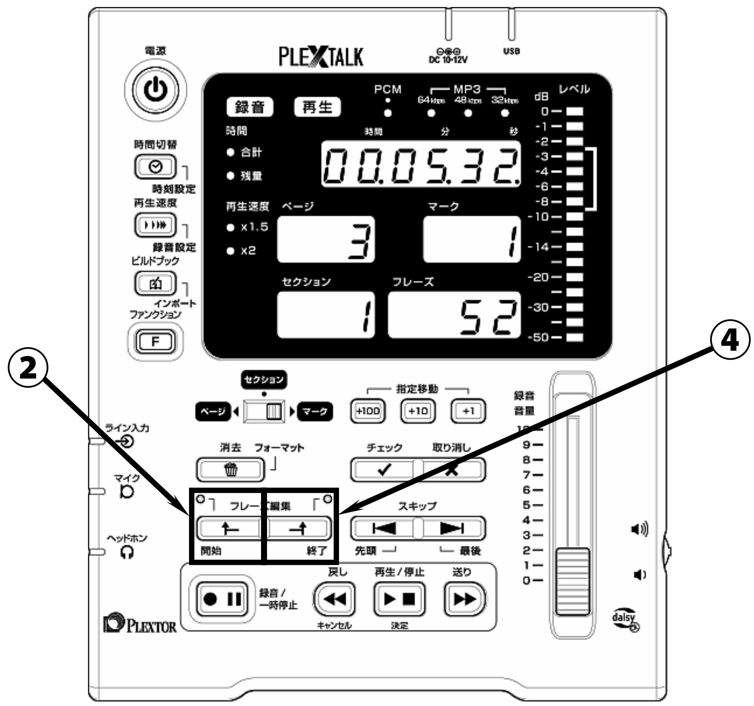
**を押します。**

→範囲の最後を指定しました。




点灯

■範囲の指定を取り消す場合は、もう一度同じボタンを押すとランプの点灯が消え、指定が取り消されます。
■範囲を指定すると、この範囲外へは移動できません。



# パンチイン録音する（訂正箇所を差し替える）

録音終了後に誤り等に気づいた場合、誤った箇所を再朗読して修正することができます。再朗読によって差し替えられた音声は消去されます。

範囲の指定手順については「範囲を指定する（P.41）」を参照してください。

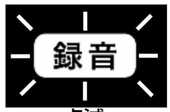
① **範囲を指定します。**



点灯

② 録音／一時停止 **を押します。**

→録音ポーズ状態になります。



点滅

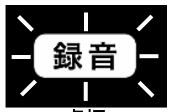
録音音量調節の手順については「録音する(P.26」を参照してください。

③ **録音音量を調節します。**

→必要に応じて調節します。

④ 録音／一時停止 **を押し録音を開始します。**

→指定範囲を録音し直します。



点灯

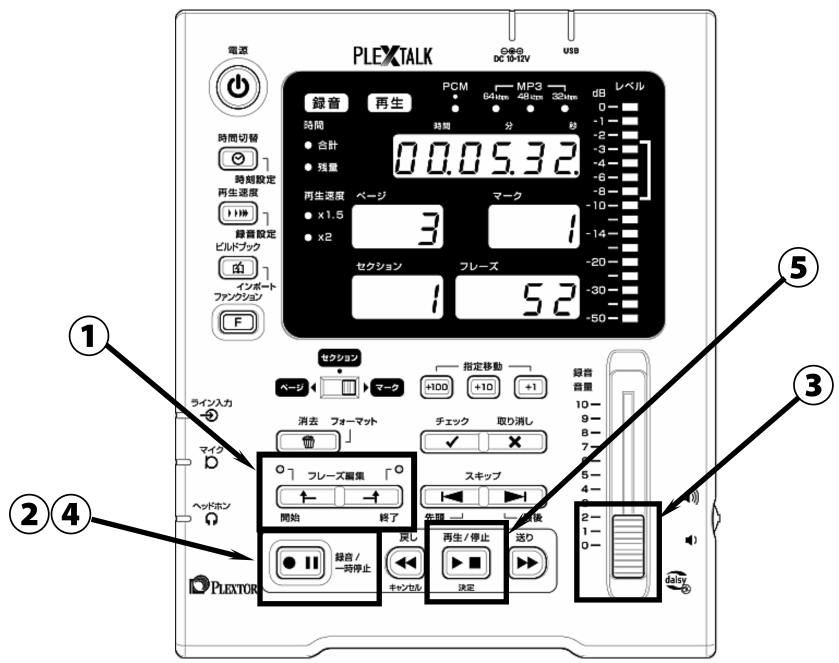
⑤ 再生／停止 **を押し録音を停止します。**

→指定範囲が差し替わります。



消灯

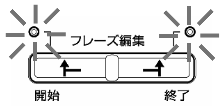
■パンチイン録音で誤りを修正しても残量時間は増えませんので注意してください。



# 消去する

範囲の指定手順については「範囲を指定する（P.41）」を参照してください。

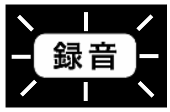
① 範囲を指定します。



点灯

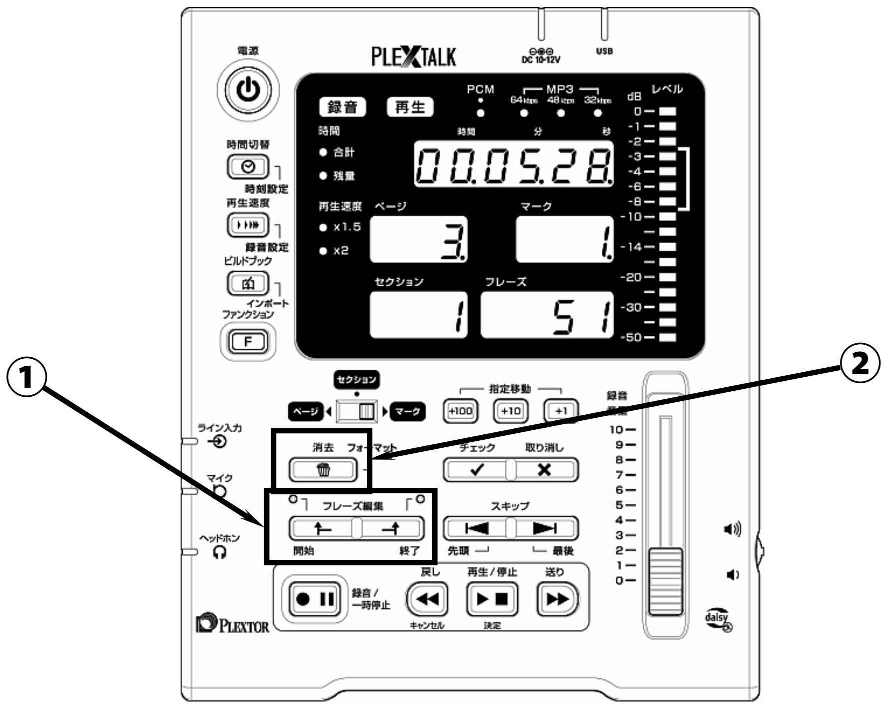
② 消去 を押します。

→指定範囲が消去されます。



点滅

■消去しても残量時間は増えませんので注意してください。




3
章

## MEMO

# 4 章
# 使いこなしましょう


合計時間、残量時間を表示する………………………… 46
再生速度を切り替える ………………………………… 47
操作音をオン／オフする……………………………… 48
録音設定を変更する…………………………………… 49
ビルドブックする ……………………………………… 52
インポートする（DAISY インポート） ……………… 53
CF カードの内容を全消去する(フォーマット)…… 54
バージョンを確認する ………………………………… 55
パソコンにデータを受渡す …………………………… 56
　パソコンに本製品を接続する……………………… 56
　パソコンにカードリーダーを接続する ………… 58
　パソコンに CF カード用 PC カードアダプタを接続する ……………………………………… 59
　CF カード内容一覧………………………………… 60
　PRS Pro への受渡しについて ……………………… 60


4
章

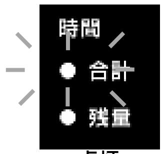
# 合計時間、残量時間を表示する

時間表示部は通常、経過時間を表示しています。時間切替ボタンを押す毎に**合計時間→残量時間→経過時間**と切り替わります。

① 

**を押します。**

→合計時間表示になります。



点灯

② 

**を押します。**

→残量時間表示になります。

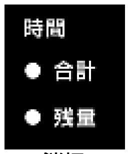


点灯

③ 

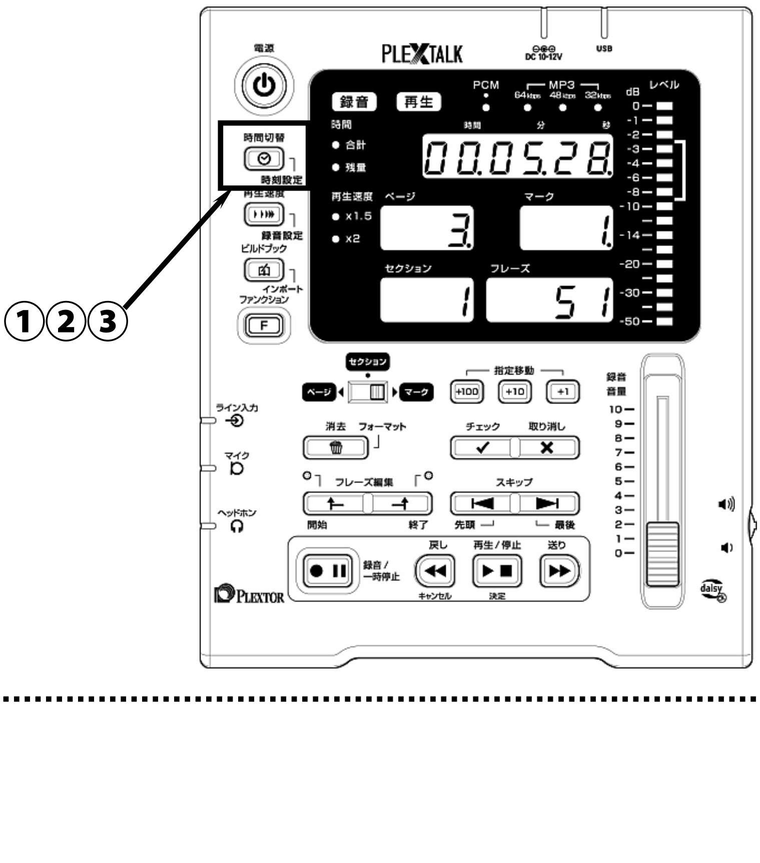
**を押します。**

→経過時間表示に戻ります。



消灯

■残量時間は録音音質によって変わります。現在の録音音質は音質ランプで確認できます。

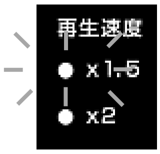


# 再生速度を切り替える

再生速度は通常、等速で再生します。再生速度ボタンを押す毎に **1.5 倍速**→**2 倍速**→**等速**と切り替わります。

① 再生速度 **を押します。**

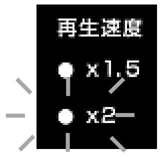
→1.5 倍速再生になります。




点灯

② 再生速度 **を押します。**

→2 倍速再生になります。



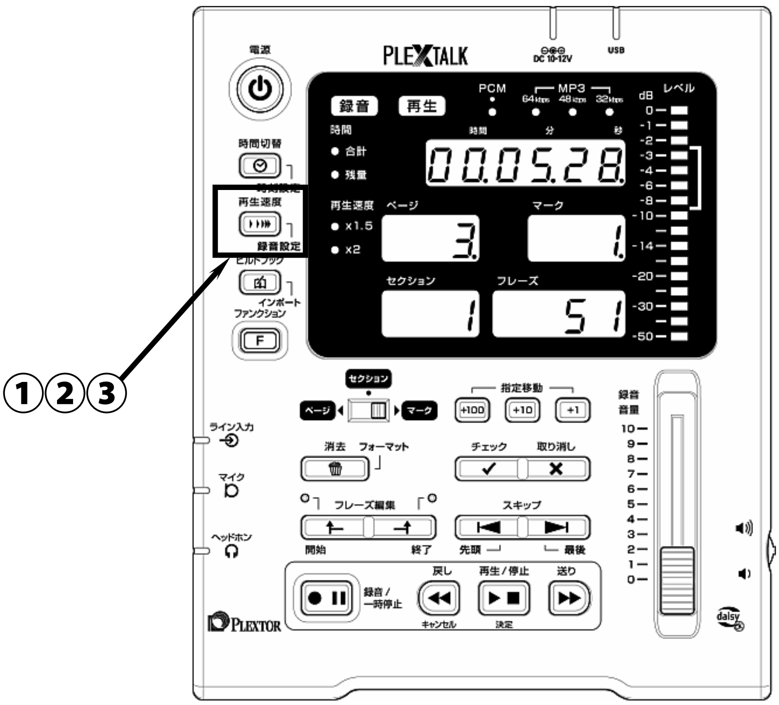

点灯

③ 再生速度 **を押します。**

→等速再生に戻ります。




消灯



# 操作音をオン／オフする

ボタン操作音を、オン／オフします。

---

■ F（ファンクション）を押しながら、

**音量シャトルを奥に倒します。**

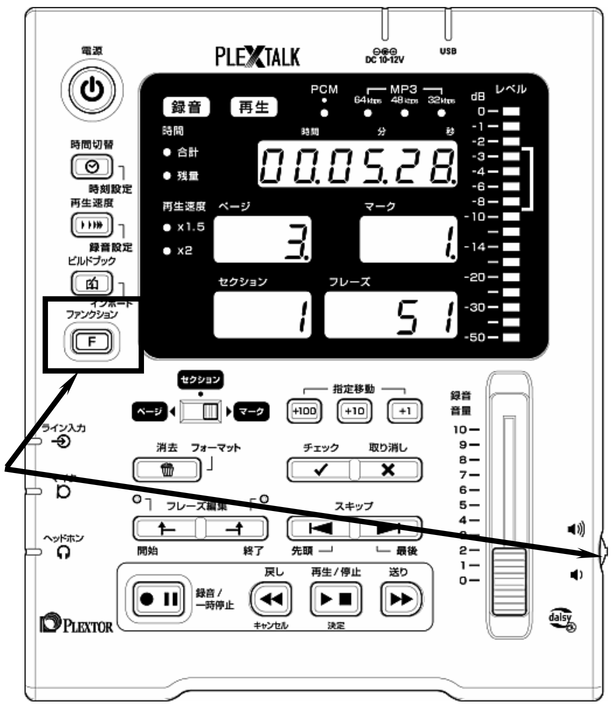
→操作音がオンになります。

---

■ F（ファンクション）を押しながら、

**音量シャトルを手前に倒します。**

→操作音がオフになります。
→音量シャトルは本体の右側面にあります。



# 録音設定を変更する

録音設定では、**録音音質**、**フレーズポーズ時間**、**セクションポーズ時間**、**ノイズレベル**を設定します。

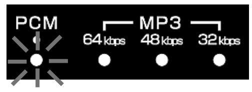
① ファンクション［F］を押しながら［録音設定］を押します。

→録音設定モードになります。
→時間表示部に「r.quAri」 と表示されます。




② 表示の点滅を確認します。

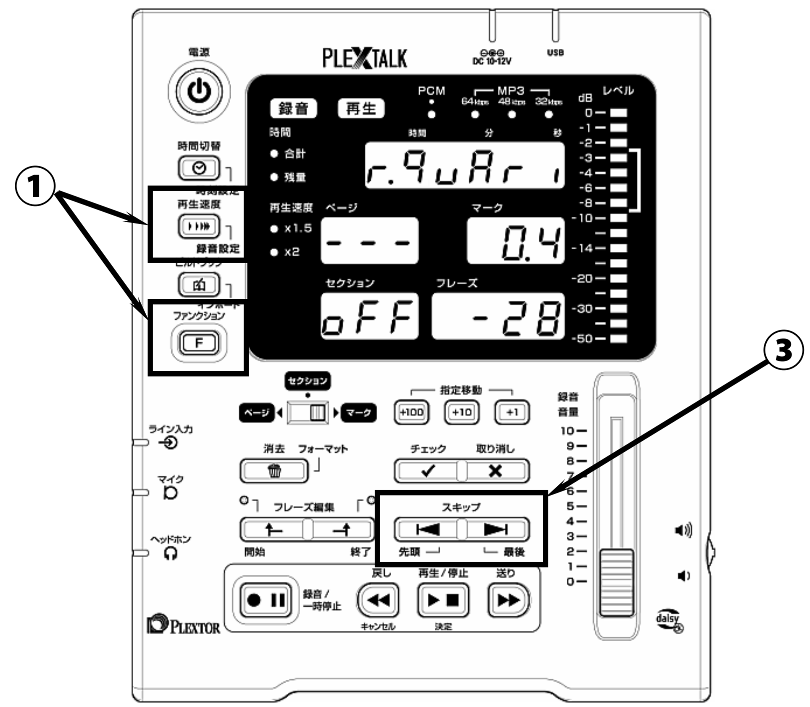
→音質ランプが点滅します。




③ **録音音質の設定**

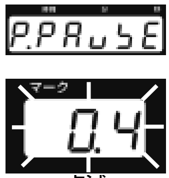
［先頭］と［最後］で録音音質を選択します。

→録音音質は「PCM」「MP3 64k」「MP3 48k」「MP3 32k」の中から選択します。
→**初期設定は「PCM」です。**



④ [終了]を押します。

→時間表示部に「P.PAuSE」 と表示されます。
→マーク表示部が点滅し、次の操作に移ります。



点滅

## ⑤ フレーズポーズ時間（検知時間）の設定

[先頭]と[最後]で設定します。

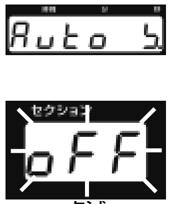
→録音時、設定時間以上の間（マ）が空くと、フレーズが区切られます。
→設定範囲は 0.2〜1.0 秒間で、0.1 秒刻みで設定できます。
→**初期設定値は 0.4 秒です。**
→フレーズが区切られずにつながってしまう場合は設定値を小さく、フレーズが区切られすぎてしまう場合は設定値を大きくします。



点滅

⑥ [終了]を押します。

→時間表示部に「Auto S」 と表示されます。
→セクション表示部が点滅し、次の操作に移ります。



点滅

## ⑦ セクションポーズ時間（自動分割時間）の設定

[先頭]と[最後]で設定します。

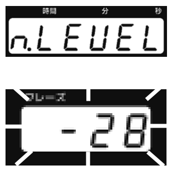
→録音時、設定時間以上の間（マ）が空くと、セクションが区切られます。
→設定範囲は off、1〜5 秒間で、1 秒刻みで設定できます。
→**初期設定値は、off です。**
→自動でセクションを区切る場合、任意の秒数に設定します。



点滅

⑧ [終了]を押します。

→時間表示部に「n.LEVEL」 と表示されます。
→フレーズ表示部が点滅し、次の操作に移ります。



点滅

## ⑨ ノイズレベルの設定

**[先頭] と [最後] で設定します。**



点滅

→録音時、録音音量が設定値を下回ると、フレーズが区切られます。
→設定範囲は-20〜-40dB 間で、2dB 刻みで設定できます。
**→初期設定値は-28dB です。**
→録音する音声にノイズが多い場合は設定値を-20 に近づけ、逆にノイズが少ない場合は設定値を-40 に近づけます。

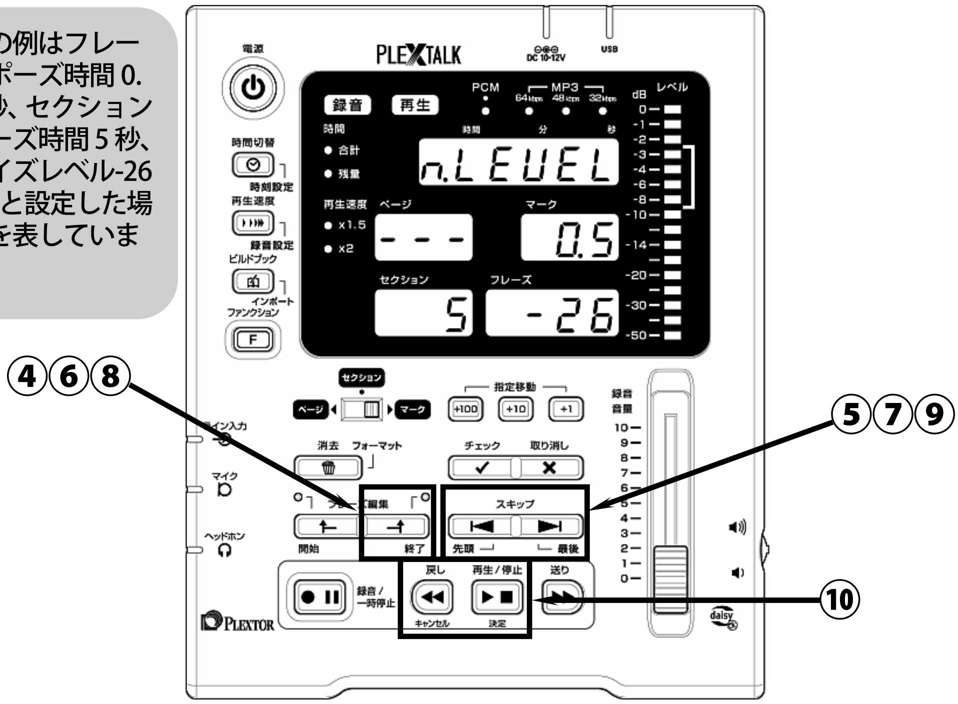
## ⑩ [再生/停止 決定] を押して決定します。

■キャンセルする場合

**[戻し キャンセル] を押してキャンセルします。**

■録音設定の内容は、本体内に自動で保存され、電源オフ／オンの後も同じ設定が保持されます。

右の例はフレーズポーズ時間 0.5 秒、セクションポーズ時間 5 秒、ノイズレベル-26 dB と設定した場合を表しています。



# ビルドブックする

録音した内容を DAISY 編集ソフト（※）等に渡す際に、ビルドブックを行います。ビルドブックを行うことで、録音データ（プレクストークプロジェクト）を DAISY 化します。DAISY には、設定したマークは含まれません。

※PRS Pro, PTR2 など弊社製品を使用して編集する場合、ビルドブックする必要はありません。

ビルドブック

① を押します。




→時間表示部に「buiLd」表示が点灯します。

再生/停止

② を押します。

決定

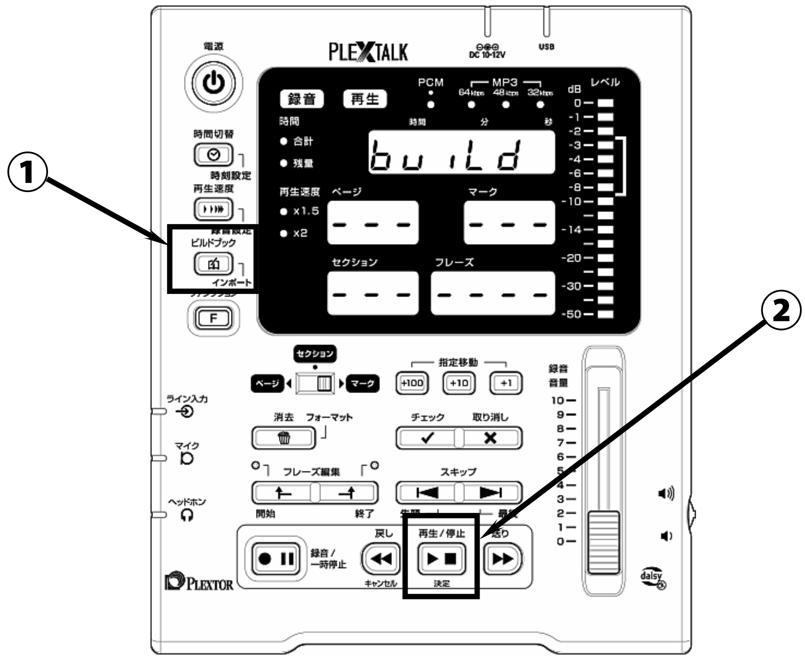
→「buiLd」表示が点滅します。

③ 「FiniSh」表示を確認します。




→ビルドブックが完了しました。

■フレーズ表示部に進捗状況がパーセントで表示されます。
■ビルドブックには 1 時間以上かかる場合があります。
■キャンセルボタン（戻しボタン）を押すと処理が中止されます。
■ビルドブックで音声ファイル内の不要部分を削除することはできません。不要部分を削除するには PRS Pro 上での音声エクスポート処理が必要になります。



# インポートする（DAISY インポート）

DAISY データを、本製品で読み込む際、インポートを行います。インポートを行うことで、DAISY をプレクストークプロジェクト化します。なお、DAISY のみを含んだ CF カードを挿入した場合、自動的に下記①の「iMPort」表示になりますので、そのままインポートを行ってください。

① ファンクション［F］を押しながら［インポート］を押します。

→時間表示部に「iMPort」表示が点灯します。




② 再生／停止・決定［▶■］を押します。

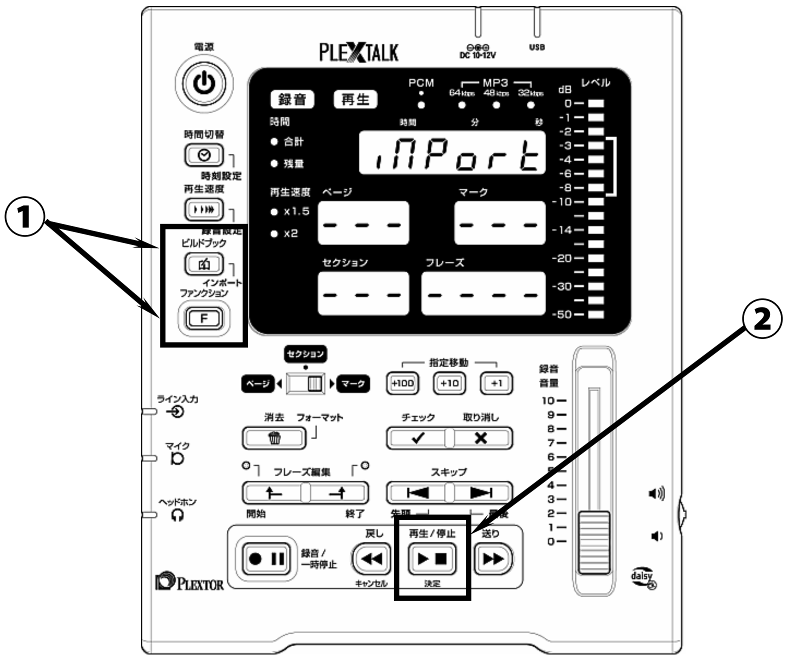
→「iMPort」表示が点滅します。

③ 「FiniSh」表示を確認します。

→インポートが完了しました。




■フレーズ表示部に進捗状況がパーセントで表示されます。
■インポートには 10 分程度時間がかかる場合があります。
■キャンセルボタン（戻しボタン）を押すと処理が中止されます。




4 章

# CF カードの内容を全消去する（フォーマット）

本製品で録音を行うと、音声ファイルのほかに情報ファイル等が作成されます。新しく図書を作るなどの目的で、一度使った CF カードを空にしたい場合、全消去（フォーマット）を行ってください。

① ファンクション F を押しながら フォーマット を押します。




→時間表示部に「ForMAt」表示が点灯します。

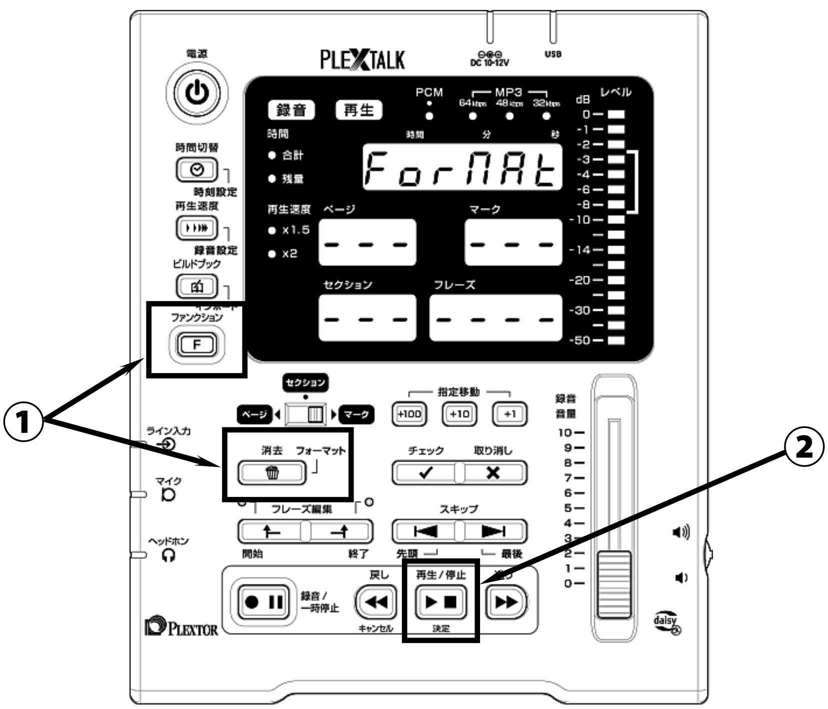
② 再生／停止 ▶■ 決定 を押します。

→「ForMAt」表示が点滅します。

③ 「FiniSh」表示を確認します。




→全消去が完了しました。



# バージョンを確認する

トラブル等で弊社サポート窓口へお問い合わせいただく際に、本製品のバージョンを確認させていただくことがあります。以下の手順にてバージョンをご確認ください。

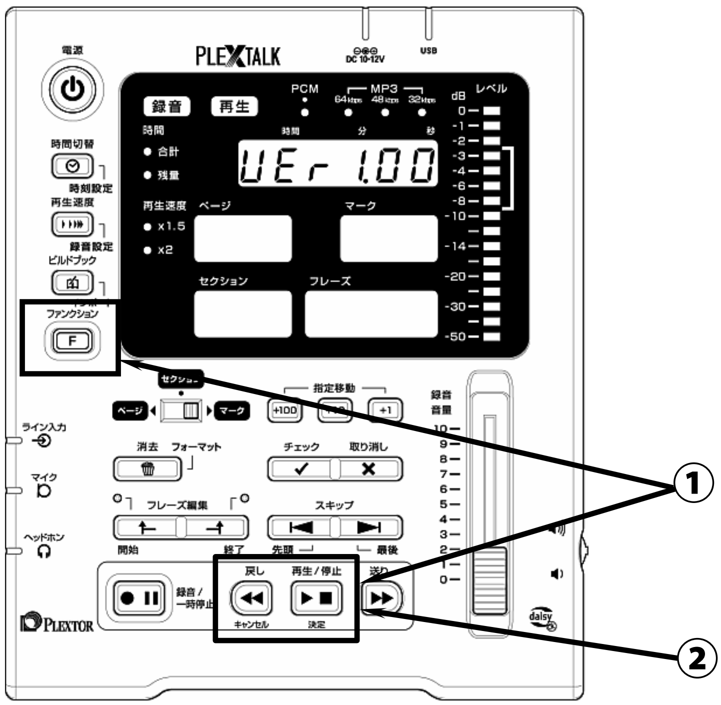
① [F](ファンクション)を押しながら[▶■](再生/停止)を押します。

→時間表示部にバージョンが表示されます。「VEr」に続く番号を確認してください。




② [▶■](再生/停止・決定)または[◀◀](戻し・キャンセル)を押します。

→元の画面に戻ります。



# パソコンにデータを受渡す

パソコンにデータを受渡すには次の 3 つの方法があります。
- パソコンと本製品を USB ケーブルで接続し、CF カードからデータを読み込む。
- CF カードを本製品から取り出し、「カードリーダー」を用いて CF カードからデータを読み込む。
- CF カードを本製品から取り出し、「CF カード用 PC カードアダプタ」を用いて CF カードからデータを読み込む。

以下でこれらの方法について順に説明します。さらに、受渡すファイル一覧、PRS Pro への受渡し方も併せて説明します。

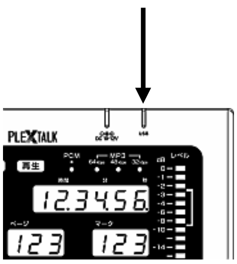
## パソコンに本製品を接続する

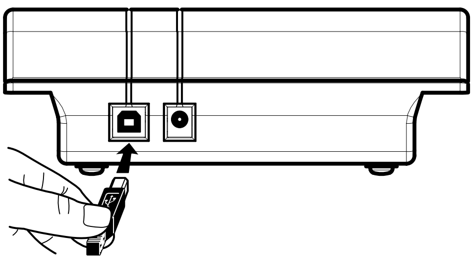
USB ケーブルで本製品をパソコンに接続すると、パソコンの外付けカードドライブとして使用することができ、パソコンから CF カードのデータを読み書きできます。

### 1）パソコンと接続する

**① パソコンと本製品の電源を入れます。**

**② USB ケーブルでパソコンと接続します。**



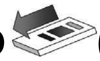
**③ パソコン上で認識されます。**

→認識されるまで少々時間がかかります。
→時間表示部に「uSb」と表示されます。
→パソコンから CF カードにアクセスすると、録音ランプが点灯します。




■CF カードがないとパソコンで認識されません。
■USB ケーブルは別売ですので、別途ご用意ください
■本製品の USB 接続は USB1.1 になります。

## 2）パソコンから取り外す

① パソコン画面右下の(※)を左クリックします。

※パソコン画面右下タスクトレイの並びに、「ハードウェアの安全な取り外し（または取り出し）」という名称で表示されているアイコンです。

② ポップアップを左クリックします。

→「USB 大容量記憶装置デバイス ー ドライブ（○：）を安全に取り外します（停止します）」と表示されます。（ドライブ（○：）にはお使いの環境に応じたドライブ名が表示されます。）

③ 「OK」または×印を左クリックします。

→ハードウェアの取り外しウィンドウを閉じます。

④ 本製品の電源を切ります。

⑤ 電源が切れたことを確認し、USB ケーブルを外します。

# パソコンにカードリーダーを接続する

ここでは USB 接続のカードリーダーについて説明します。

## 1）カードリーダーを接続する

① **カードリーダーに CF カードを挿入します。**

② **カードリーダーをパソコンに接続します。**

→カードリーダーが USB 大容量記憶装置デバイスとして認識されます。

## 2）カードリーダーを取り外す

① **パソコン画面右下の(※)を左クリックします。**

※パソコン画面右下タスクトレイの並びに、「ハードウェアの安全な取り外し（または取り出し）」という名称で表示されているアイコンです。

② **ポップアップを左クリックします。**

→「USB 大容量記憶装置デバイス ー ドライブ（○：）を安全に取り外します（停止します）」と表示されます。（ドライブ（○：）にはお使いの環境に応じたドライブ名が表示されます。）

③ **「OK」または×印を左クリックします。**

→ハードウェアの取り外しウィンドウを閉じます。

④ **カードリーダーをパソコンから取り外します。**

⑤ **カードリーダーから CF カードを取り出します。**

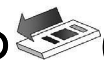
# パソコンに CF カード用 PC カードアダプタを接続する

## 1）CF カード用 PC カードアダプタを接続する

① **CF カード用 PC カードアダプタに CF カードを挿入します。**

② **CF カード用 PC カードアダプタをパソコンに挿入します。**

## 2）CF カード用 PC カードアダプタを取り外す

① **パソコン画面右下の(※)を左クリックします。**

※パソコン画面右下タスクトレイの並びに、「ハードウェアの安全な取り外し（または取り出し）」という名称で表示されているアイコンです。

② **ポップアップを左クリックします。**

→「PCMCIA IDE/ATAPI コントローラ ー ドライブ (○:) を安全に取り外します（停止します）」などと表示されます。（ドライブ（○：）にはお使いの環境に応じたドライブ名が表示されます。）

③ **「OK」または×印を左クリックします。**

→ハードウェアの取り外しウィンドウを閉じます。

④ **CF カード用 PC カードアダプタをパソコンから取り外します。**

⑤ **CF カード用 PC カードアダプタから CF カードを取り出します。**

# CF カード内容一覧

本製品で録音を行った際に CF カード内に作成されるファイル一覧です。

| | |
|---|---|
| PTRInfo.html | 情報ファイル |
| Discinfo.html（ビルドブック後） | 〃 |
| Bookdir0 | フォルダ |
| 　　Ncc.imdn | 情報ファイル |
| 　　Ncc.html（ビルドブック後） | 〃 |
| 　　ImdPhrInfo.imph | 〃 |
| 　　ImdTxtTabl.imtt | 〃 |
| 　　A000001.wav～ | 音声ファイル |
| 　　Ptk000001.smil～（ビルドブック後） | 情報ファイル |

# PRS Pro への受渡しについて

本製品で録音を行い、PRS Pro で DAISY 編集を行う場合、ビルドブックを行わず、そのままデータを受渡します。
Bookdir0 フォルダ内の Ncc.imdn を PRS Pro で開くことで、そのまま DAISY 編集を行うことができます。
ただし、複数のカードの内容を PRS Pro で一冊の図書にまとめる場合はビルドブックをして DAISY インポートしてください。

# 5 章
# 主な仕様とオプション


主な仕様 …… 62
　製品仕様 …… 62
　オーディオ特性 …… 63
　カードドライブ仕様 …… 63
動作確認済カード、マイク …… 64
　動作確認済カード …… 64
　動作確認済マイク …… 65


5 章

# 主な仕様

## 製品仕様

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 記録媒体 | CF カード |
| 再生音声フォーマット<br>（DAISY 規格図書） | MP3、PCM、DAISY ADPCM |
| 録音方式 | DAISY2.02 形式<br>プレクストークプロジェクト形式 |
| 録音音声フォーマット<br>（DAISY 形式） | PCM 22.05kHz 16bits モノラル<br>MP3 64kbps モノラル<br>MP3 48kbps モノラル<br>MP3 32kbps モノラル |
| 音声出力 | ヘッドホン出力端子（ステレオ） |
| 音声入力 | ライン入力端子（モノラル）<br>外付けマイク入力端子（モノラル） |
| 外部インターフェース | USB1.1 |
| CF カードスロット | Compact Flash Association に準拠したカード |
| 時計精度 | 月差 ± 約 60 秒 |
| 電源アダプタ | AC100V　50／60Hz |
| 外観寸法 | 173（W）×210（D）×57（H）mm |
| 重量 | 約 610g |
| 消費電力 | 最大 5W（AC 電源 100V 時） |
| 動作温度 | 5〜40℃　ただし結露しないこと |

# オーディオ特性

## ●ヘッドホン出力端子

| 項目 | 特性 |
|---|---|
| 適合インピーダンス | 32Ω不平衡 |
| ジャック | 3.5mm ステレオミニジャック |
| 出力電圧 | 0.4Vrms（±0.15Vrms） |

## ●ライン入力端子

| 項目 | 特性 |
|---|---|
| 入力インピーダンス | 20kΩ不平衡 |
| ジャック | 3.5mm モノラルミニジャック |
| 入力感度 | −11dBV 以下 |

## ●外部マイク入力端子（プラグインパワー非対応）

| 項目 | 特性 |
|---|---|
| 入力インピーダンス | 2.2kΩ不平衡 |
| ジャック | 3.5mm モノラルミニジャック |
| 入力感度 | −55dBV |

# カードドライブ仕様

| 項目 | 仕様 | |
|---|---|---|
| カードスロット | Compact Flash Association に準拠した Type I のカード | |
| 推奨動作環境 | OS | Windows 2000<br>XP (32 bit)<br>Vista (32 bit)<br>7 (32 bit, 64 bit) |
| | CPU | Celeron 400MHz 以上 |
| | メモリ | 128MB 以上 |
| | インターフェース | USB1.1<br>接続コネクタ：TypeB |

5章

# 動作確認済カード、マイク

注意）
市販製品は予告無く仕様が変更される場合があり、そのために弊社製品で使用できなくなる場合があります。このような事情から、弊社では動作確認済みの製品に対する動作を保証するものではありません。また、他社製品と本製品との相性により、正常に動作しない場合があります。動作確認済み製品も含め、他社製品との相性による不具合に対する保証は、弊社ではお受けできませんので、あらかじめご了承ください。

## 動作確認済カード

ご購入の際は、弊社ホームページまたは問い合わせ窓口にて最新情報をご確認ください。

**●CF カード**

2010 年 11 月現在の情報です。

| メーカー | 型番 | 容量 |
|---|---|---:|
| Sandisk | SDCFH-002G-J61A | 2GB |
| Sandisk | SDCFX4-4096-J45 | 4GB |
| Sandisk | SDCFHG-004G-J95 | 4GB |
| Sandisk | SDCFHG-008G-J95 | 8GB |
| Lexar | CF4GB-80-810 | 4GB |
| Lexar | LCF4GBBCJP080 | 4GB |
| Lexar | LCF8GBBCJP080 | 8GB |
| Lexar | LCF2GBDRBJP233 | 2GB |
| Lexar | LCF4GBDRBJP233 | 4GB |
| Lexar | LCF8GBDRBJP233 | 8GB |
| Lexar | LCF4GBERBJP300 | 4GB |
| Transcend | TS2GCF266 | 2GB |
| Transcend | TS4GCF266 | 4GB |
| Transcend | TS8GCF266 | 8GB |
| Transcend | TS2GCF133 | 2GB |
| Transcend | TS4GCF133 | 4GB |
| Transcend | TS8GCF133 | 8GB |

※ Transcend 製 TS16GCF133（16GB）および TS32GCF133（32GB）は動作しませんので、ご注意ください。

※本製品でご使用いただけるのはメモリータイプの CF カード（Type I ）のみです。ハードディスクタイプのマイクロドライブおよび Type II の CF カードは、本製品ではご使用いただけません。

## 動作確認済マイク

市販のダイナミックマイク、またはコンデンサマイク（電源付モデルのみ対応、プラグインパワー非対応）を使用してください。

2010 年 3 月現在の情報です。

**●ダイナミックマイク**

| メーカー | 型番 |
|---|---|
| SHURE | SM58 |
| SONY | F-V420 |
| SONY | F-V620 |

**●コンデンサマイク**

| メーカー | 型番 |
|---|---|
| audio-technica | AT9440（生産完了） |
| audio-technica | AT9820X（生産完了） |
| SONY | ECM-330 |
| SONY | ECM-360 |

⚠注意

■ コンデンサマイクを使用する場合は、必ず電源付のマイクをご使用ください。プラグインパワーのマイクを接続したり、誤った方法で使用された場合、マイクや本製品が破損する恐れがあります。マイクに付属する取扱説明書等をよくお読みになり、注意事項をご確認のうえご使用ください。

5
章

# 6 章
# 故障かなと思ったら


うまく動作しないときは………………………………… 67
エラーが表示されたら ………………………………… 70
ノイズが混入したら……………………………………… 74

# うまく動作しないときは

| 症状 | 原因 | 対応のしかた |
|---|---|---|
| 電源スイッチを押しても、電源が入らない。 | 電源コードや電源アダプタが接続されていない。あるいは、しっかりと差し込まれていない。 | 電源アダプタをコンセントと本体にしっかりと差し込んでください。 |
| CF カードを挿入できない。 | 本製品で使用できない Type II の CF カードを挿入しようとしている。 | Type II の CF カードは使用できません。Type I の CF カードを使用してください。 |
| | CF カードを挿入する向きが間違っている。 | 本書の「CF カードの入れ方(p.17)」をご覧になり、CF カードを挿入し直してください。 |
| 録音も再生もできない。 | CF カードが挿入されていない。 | CF カードを挿入してください。 |
| | 本製品で録音・再生ができない CF カードが使われている。 | 本書の「動作確認済カード(p.64)」をご覧になり、本製品で使用可能な CF カードを使用してください。 |
| | CF カードがフォーマットされていない。 | CF カードをフォーマットしてから録音・再生してください。CF カードをフォーマットすると録音されているデータが全て消去されますので、ご注意ください。 |

6
章

| 症状 | 原因 | 対応のしかた |
|---|---|---|
| 録音できない。 | 録音ボタンを押したはずだったが、一時停止状態になっていた。 | 録音ランプでご確認ください。録音状態はランプが点灯、一時停止状態はランプが点滅します。 |
| | CF カードの残量時間がほとんどない。 | 本書の「合計時間、残量時間を表示する（p.46)」をご覧になり、残量時間を確認してください。残量時間が少ない場合は新しい CF カードに入れ替えて録音してください。 |
| 録音時に録音レベルを示すメータが上がらない。あるいは、録音したが、再生しても無音または音が非常に小さい。 | マイクを間違った場所に接続している。 | 本書の「マイクを接続する（p.19)」をご覧になり、マイクを正しい場所に接続してください。 |
| | 本製品で使用できないマイクを使っている。 | 本書の「動作確認済マイク（p.65)」をご覧になり、本製品で使用可能なマイクを使用してください。 |
| | 「録音音量つまみ」が音量ゼロの位置のまま録音した。 | 本書の「録音する(p.26)」をご覧になり、適切な録音音量で録音してください。 |
| | 本製品右側面の「音量シャトル」が音量ゼロの位置になっている。 | 本書の「再生音量を調節する(p.30)」をご覧になり、適切な音量で再生してください。 |
| 再生したい場所に移動できない。 | パンチインや消去のための範囲が指定されており、再生したい場所がその範囲外である。 | 指定した範囲を、取り消してください。 |

| 症状 | 原因 | 対応のしかた |
| --- | --- | --- |
| 時間、セクション、マーク、フレーズ表示部に「E.」と表示される。 | 表示できる最大数を超えている。 | 故障ではありません。<br>時間、セクション、マーク、フレーズ表示は表示最大数を超えると最大桁に「E.」と表示されます。 |
| 「iMPort」表示をキャンセルできない。 | DAISY のみを含んだ CF カードを挿入している。 | DAISY のみを含んだ CF カードを挿入した場合、インポートを行わないと次の作業に進めませんので、必ずインポートを行ってください。 |
| フレーズ移動や再生の反応が遅い。 | ひとつのセクションに含まれるフレーズ数が多い。 | 故障ではありません。<br>ひとつのセクションに含まれるフレーズ数が数千を超えるような場合、移動操作等の反応が遅くなってきますので、適当な位置でセクションを区切るようにしてください。 |

6
章

# エラーが表示されたら

エラーメッセージは時間表示部に、エラー番号はマーク表示部に表示されます。

| エラーメッセージ／エラー番号 | エラーメッセージの意味 | 対応のしかた |
|---|---|---|
| “CARD　FULL”／“101” | カードの空き容量が足りない。 | 別のカードで続きの録音を行ってください。空き容量が一杯になったカードは、全消去（フォーマット）で内容を消去することができます。※1 |
| “DAISY　FULL”／“301” | プレクストークプロジェクトファイルの容量が大きすぎる。 | 本製品で扱うことができるプレクストークプロジェクトファイルの最大容量を超えています。PRS Pro 等で録音や編集を行ってください。※2 |
| “CARD　ERR”／“103” | カードが認識できない。 | 本製品で認識できないカードです。全消去（フォーマット）を行ってください。 |
| “PAGE　FULL”／“302” | ページ番号が最大を超えている。 | ページ番号が最大になっています。本製品でページ番号が 999999 を超える本を開くことはできません。また、999999 番以上のページを設定することはできません。※3 |
| “COM　ERR”／“H01”または“H02” | 内部エラーが発生している。 | 電源を切り、電源アダプタを差し直してください。 |
| “NO　DAISY”／“306” | インポートすべき DAISY が無い。 | DAISY データが含まれた CF カードに交換してください。 |
| “READ　ERR”／“104” | カードの読み込みに失敗した。 | エラーが発生した部分を再朗読して修正してください。※4 |

| エラーメッセージ／エラー番号 | エラーメッセージの意味 | 対応のしかた |
|---|---|---|
| “WRITE　ERR”／“105” | カードへの書き込みに失敗した。 | エラーが発生した部分が正しく保存されているか、確認してください。保存されていない場合は、再朗読をして修正してください。※４ |
| “NOPAGE”／“307” | 指定したページ番号がない。 | 指定したページ番号はありません。前後のページを指定して移動し、ページを確認し直してください。本製品以外で作成した図書では、ページ番号が連続していない場合があります。 |
| “BOOK　ERR”／“308” | プレクストークプロジェクトファイルの内容が誤っている。 | プレクストークプロジェクトファイルの内容に問題が発生しているか、必要な音声ファイルが無くなっています。再生中やビルドブック中にこのエラーが発生した場合には、発生した場所を再朗読して修正してください。※４ |
| | 録音図書のデータが破損した。 | ※５(73 ページ)を参照してください。 |
| “SOUND　ERR”／“309” | サポート外の音声フォーマットである。 | 本製品でサポートしていない音声形式の図書です。この図書を本製品で録音、編集することはできません。 |
| “RANGE　ERR”／“310” | 範囲を選択した場合、範囲外への移動はできない。 | 番号指定移動で指定した番号を変更してください。または、選択した範囲を解除してください。 |

6
章

| エラーメッセージ／エラー番号 | エラーメッセージの意味 | 対応のしかた |
|---|---|---|
| “ERR”／“999” | 想定外のエラーが発生した。 | エラー発生直前に行った操作を再確認してください。特に、録音や編集を行っていた場合は、正しく保存されているか確認してください。保存されていない場合は、再朗読をして修正してください。※４ |

備考

※１　本製品は、録音を行うために最低で 30MB の空き容量が必要です。（図書の大きさにしたがって必要な空き容量は増加します。）

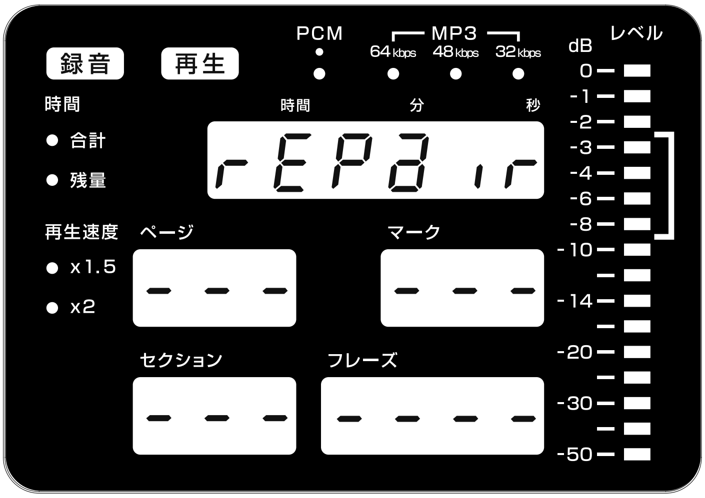
※２　PRS Pro では、本製品で扱うことができる最大の容量より大きなプレクストークプロジェクトファイルを作成することができます。本製品で編集可能なプレクストークプロジェクトファイルのサイズは 7 MB までです。

※３　DAISY 編集ソフトを使うと、999999 を超えるページが作成される場合があります。

※４　頻繁に発生する場合は、使用しているカードに問題がある可能性があります。

※5
電源を切る際、画面が完全に消灯するまでの間に、電源アダプターを外したり、コンセントを抜いたり、CF カードを取り出したりすると、データが破損する場合があります。データが破損した場合は、次回起動時に「BOOK ERR 308」や「READ ERR 104」などのエラーメッセージが表示されます。この場合、以下の方法でデータを修復してください。

1. 電源を切ります。
2. CF カードを挿入します。
3.「再生/停止」ボタンを押しながら、電源ボタンを押します。
4. 時間表示部に「rEPair」という表示が点灯したら、「再生/停止」ボタンから指を離します。
5. もう一度「再生/停止」ボタンを押すと修復が始まります。
6. 修復が終了すると、「rEPair」という表示が消え、通常の表示に戻ります。



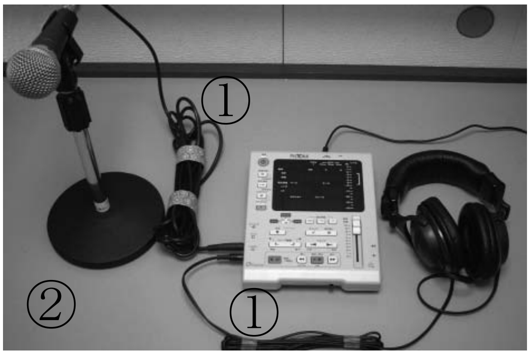

【注意事項】
●上記の操作を行ってもデータを修復することができない場合があります。あらかじめご了承ください。
●上記の方法で修復できた場合でも、最後に録音された部分は消失している場合があります。
●修復後に再度録音を行った際、別のエラーが表示されてしまう場合があります。その場合には、パソコンで CF カード内の図書フォルダ(BookDir0 など)を開き、拡張子名が「tmp0」や「tmp1」という名前のファイルがあったら、それらを削除してください。

6
章

# ノイズが混入したら

他の機器や電源アダプタ、電源コードなどから伝わるノイズが、録音データに混入してしまう場合があります。その際には、以下の方法をお試しください。

①マイクやヘッドホンのケーブルが長いものを利用されている場合は、余った部分を写真のように束ねます。<u>円形状には束ねないでください。</u>
②マイクはマイク用スタンドを使用します。
③電源アダプターは、本体やマイクケーブルから、できるだけ離します。
④電源ケーブルの余った部分を束ねます。




できるだけ離す




<注意>
使用環境によりノイズの原因が異なりますので、上記の方法で全てのノイズを除去できるとは限りません。

---

好ましくない配線の例
・マイクケーブルが電源アダプタ、電源コードと接触している場合（例１）
・テープデッキ等の上に電源アダプタを置いている場合（例２）



例１



例２

# 7 章
# 用語集／索引／お問い合わせ

用語集 …………………………………………………… 76
索引……………………………………………………… 78
保証およびお問い合わせ……………………………… 79

# 用語集

| 用語 | 意味 |
|---|---|
| DAISY | DAISY とは、視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のために開発されたデジタル録音図書の規格で、DAISY 図書とは、この規格に則って制作された図書のことを言います。 |
| PRS Pro | 弊社が販売している、DAISY 図書制作ツールです。本製品で作成した図書を DAISY 編集することができます。 |
| PTR1／PTR2 | 弊社が販売している、DAISY 録音／再生機です。DAISY 図書の再生だけでなく、録音や編集もできます。 |
| インポート<br>(DAISY インポート) | DAISY 図書からプレクストークプロジェクトを作成することです。 |
| セクション | 図書における、章の役割を果たします。セクションには、1 つ以上のフレーズが含まれます。 |
| ノイズレベル（フレーズ検知音量） | フレーズを検出するための設定のひとつ。音声とノイズを区別する音量のことです。 |
| パンチイン録音 | すでに録音してある内容を確認しているときに、誤りに気付いた場合に利用する編集方法。不要なフレーズを削除して、新しく録音したフレーズを代わりに入れます。削除したフレーズの数や長さに制限されることなく、自由な長さのフレーズに入れ替えることができます。 |
| ビルドブック | プレクストークプロジェクトから DAISY 図書を作成することです。 |
| フレーズ | DAISY における音声の最小単位。ひと息で読める程度の短い文章のことです。本製品においては、文章の始まりにおいて音声を検出したときがフレーズの開始点とし、一定時間の無音（フレーズ検知時間）を経た後、次の文章の音声を検出した時点を終了点とします。 |
| フレーズポーズ時間<br>(フレーズ検知時間) | フレーズを検出するための設定のひとつ。無音がフレーズ検知時間以上続いた場合にフレーズを区切ります。 |

| 用語 | 意味 |
| --- | --- |
| プレクストーク<br>プロジェクト | 録音や編集に適した DAISY 情報。DAISY2.02 規格に準拠しない、Plextalk 独自のフォーマットです。プレクストークプロジェクトを取り扱うことができる製品は、PTP1、プレクストークリンクポケット、PTR1、PTR2、PTN2、PRS、PRS Pro、MyStudioPC です。<br>ページやセクション等の DAISY 情報に加え、PRS、PRS Pro、MyStudioPC では、校正に便利なマークを共有することができます。 |
| ページ | 図書における、頁の役割を果たします。本製品においては、フレーズにページが設定されます。 |
| マーク | 朗読内容の間違いに気付いた場合や後で確認したい箇所がある場合、マークを付けて目印にする事ができます。本製品においては、フレーズにマークが設定されます。なお、マークは DAISY 規格に含まれない機能であり、本製品と PRS Pro、PRS、MyStudioPC で利用できる機能です。 |
| 上書き録音 | 録音している過程で誤りに気付いたときに、すぐに録音をやり直す場合に利用する編集方法。<br>誤りに気付いた段階で録音を一時停止し、数フレーズ戻って録音を再開します。戻った範囲のフレーズは削除され、新たに録音したフレーズに入れ替わります。 |
| 挿入録音 | すでに録音してある内容に、あとから挿入して録音する編集方法。好きな場所に、自由な長さの録音をすることができます。 |

# 索引


CF カード　16、17、18、54、64
DAISY　10、11、52、53、76
MP3　16、49
PCM　16、49
PRS Pro　10、52、60、76
USB　13、56、57、58
一時停止　28
移動　34-37
インポート　53、76
上書き録音　32、39、77
カード内容全消去　54
画面表示一覧　14
経過時間　14、46
合計時間　14、46
コネクタ一覧　13
再生　29
再生音量　30
再生速度　47
残量時間　14、46
時間表示　46
時刻設定　22-24
指定移動（番号指定移動）37
消去　43
スキップ移動　36
セクション　11、31、36、37、76
全消去　54
操作音　48
挿入録音　33、40、77
データの受渡し　56-60
電源アダプタ　20
入出力一覧　13
バージョンの確認　55
パソコンとの接続　56、58、59
パソコンからの取り外し　57、58、59
範囲の指定　41
番号指定移動　37
パンチイン録音　33、42、76
ビルドブック　52、76
フレーズ　11、76
フレーズ移動　35
プレクストークプロジェクト　52、53、77
ページ　31、36、37、77
ヘッドホン　19
ボタン・つまみ一覧　12
フォーマット　54
マーク　36、37、38、77
マイク　19、65
録音　26-28、32-33、39、40、42
録音設定　49-51
録音音量(録音レベル)　26

# 保証およびお問い合わせ

## ●保証について

シナノケンシ株式会社は、本製品のお買い上げ日から１年間（以下「保証期間」といいます）に本製品に不具合が認められた場合には、本製品が添付の取扱説明書に従ってご使用されている場合に限り、不具合の内容や程度等を考慮して、無償にて修理あるいは交換などの対応をいたします。但し、次のような場合は、保証期間を問わず、保証の対象にはなりません。あらかじめご了承ください。

・取扱説明書に記載された警告、注意事項その他使用条件・方法と異なる使用をした場合。
・付属コード、電源アダプタなど、付属品以外のものを使用して破損した場合。
・フロントパネル等の外面の損傷など。
・不具合の原因が不適当と思われるご使用方法である場合。
・不具合の原因が落下等の過大な衝撃である場合。
・不具合の原因が部品等の自然劣化・消耗である場合。
・不具合の原因が落雷、風水害、地震、火災、塩害、その他天災地変である場合。
・不具合の原因が本製品に接続した他の機器である場合。
・弊社又は弊社が指定した者以外の者（個人、事業者を含みます）により改造、修理された場合。
・本製品を第三者に譲渡した場合。
・本製品より取り外した部品の修理。
・修理等のご依頼の際に保証書のご提示がない場合。
・保証書に必要事項の記載がない場合、または保証書の文言が書き換えられている場合。
・本製品を日本国外で使用する場合。

弊社は、いかなる場合においても、お客様の逸失利益、特別損害、付随的損害又はその他の結果的損害について、一切の責任を負うものではありません。保証サービスを受ける場合は、弊社プレクストーク問い合わせ窓口、または本製品をご購入した販売店にご連絡ください。

## ●お問い合わせ先

本製品を操作している際にトラブルが発生した場合は、まず「6 章　故障かなと思ったら」を参考にして対処してください。それでも解決できない場合は、弊社までお問い合わせください。お問合せ先は裏表紙に記載されています。

## プレクストークの機能や取扱いに関するお問い合わせは


**プレクストークお問い合わせ窓口**

電話　　：050-5804-1177
FAX　　：0268-42-2923
E-mail　：plextalk@skcj.co.jp


◆通話料金はお客様のご負担となり、一般電話と同等の通話料金がかかります。あらかじめご了承ください。
◆ご相談受付時間　9：30〜17：00
　日・祝・祭日は休業とさせていただきます。
◆FAX や E-mail は、常時受け付けております。


〒386-0498
長野県上田市上丸子 1078
シナノケンシ株式会社
URL：http://www.plextalk.com/jp/



2013/07　127-3779903